

地域活性化計画指標

	ストーリー名	①-1	①-2	②-1	②-2	③	④
1	近世日本の教育遺産群	○		○		○	
2	かかあ天下	○	○	○		○	○
3	加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡	○	○	○		○	
4	灯（あか）り舞う半島 能登	○		○		○	○
5	海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群	○		○		○	
6	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜	○		○		○	
7	祈る皇女斎王のみやこ 斎宮	○		○		○	
8	琵琶湖とその水辺景観	○	○	○		○	
9	日本茶800年の歴史散歩	○		○		○	
10	丹波篠山 デカンショ節	○	○	○	○	○	
11	日本国創成のとき	○		○		○	
12	六根清浄と六感治癒の地	○		○	○	○	
13	津和野今昔	○		○	○	○	
14	尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市	○		○	○	○	
15	「四国遍路」	○		○		○	
16	古代日本の「西の都」	○	○	○	○	○	
17	国境の島 壱岐・対馬・五島	○		○		○	
18	相良700年が生んだ保守と進取の文化	○	○	○		○	○
19	政宗が育んだ“伊達”な文化	○		○		○	○
20	自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』	○		○		○	
21	会津の三十三観音めぐり	○		○		○	
22	未来を拓いた「一本の水路」	○	○	○	○	○	
23	北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み	○	○	○		○	
24	江戸庶民の信仰と行楽の地	○	○	○	○	○	
25	「いざ、鎌倉」	○	○	○		○	
26	「なんだ、コレは！」	○		○		○	○
27	『珠玉と歩む物語』小松	○		○		○	○
28	木曾路はすべて山の中	○		○		○	○
29	飛騨匠の技・こころ	○		○		○	
30	『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」	○		○	○	○	
31	森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ	○		○		○	
32	鯨とともに生きる	○		○		○	○
33	地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市	○		○		○	
34	出雲國たたら風土記	○		○		○	
35	鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴	○	○	○		○	
36	“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島	○		○	○	○	
37	日本磁器のふるさと 肥前	○		○	○	○	○
38	江差の五月は江戸にもない	○		○	○	○	○
39	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間	○		○		○	
40	サムライゆかりのシルク	○		○		○	
41	和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田	○		○		○	○
42	忍びの里 伊賀・甲賀	○		○		○	
43	300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊	○		○		○	
44	1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」	○		○	○	○	
45	播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道	○		○		○	
46	絶景の宝庫 和歌の浦	○		○		○	
47	「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅	○		○		○	
48	日が沈む聖地出雲	○	○	○		○	
49	一輪の綿花から始まる倉敷物語	○	○	○		○	
50	きっと恋する六古窯	○	○	○	○	○	
51	森林鉄道から日本一のゆずロードへ	○		○		○	
52	関門“ノスタルジック”海峡	○	○	○		○	
53	米作り、二千年にわたる大地の記憶	○		○	○	○	
54	やばけい遊覧	○	○	○		○	

- ①- 1 : 日本遺産を活用した集客・活性化
観光客入込み数
- ①- 2 : 日本遺産を活用した集客・活性化
その他（宿泊者数, 経済効果等）
- ②- 1 : 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化
地域の文化に誇りを感じる住民の割合
- ②- 2 : 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化
その他（日本遺産の認知度, 協議会以外の日本遺産を活用した取組数等）
- ③ : 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立
（ふるさと納税額, 寄付額, 開発された商品・サービス数, 協力団体数等）
- ④ : その他
（ガイド人数, ロゴマーク使用件数等）

認定地域指標一覧

①日本遺産を活用した集客・活性化

観光客入込み数

(1. 近世日本の教育遺産群)

具体的な指標：	日本遺産の主な構成文化財のある施設の入館者数（弘道館，足利学校，閑谷学校，咸宜園）					
目標値：	平成 26 年度 346,709 人		⇒		平成 32 年度 445,000 人	
設定根拠：	認定地域の各構成資産の目標値の合計値					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	368,000	383,000	398,000	414,000	430,000	445,000
実績値	380,356	426,382				
具体的な指標：	弘道館における入館者数					
目標値：	平成 24 年度 48,000 人		⇒		平成 32 年度 122,000 人	
設定根拠：	第3次水戸市観光基本計画で平成35年度の目標値（15万人）を示しており，毎年度，9,273人の増加数を見込んで設定（平成26年度実績：61,695人）。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	76,000	85,000	94,000	104,000	113,000	122,000
実績値	80,506	95,184				
具体的な指標：	史跡足利学校参観者数					
目標値：	平成 26 年度 175,681 人		⇒		平成 32 年度 198,000 人	
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率0.6%に対し，毎年度，対前年度比で約2%の伸び率を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	179,000	183,000	186,000	190,000	194,000	198,000
実績値	185,528	215,738				
具体的な指標：	特別史跡旧閑谷学校の入場者数					
目標値：	平成 26 年度 89,804 人		⇒		平成 32 年度 101,000 人	
設定根拠：	平成20年度～平成26年度の合計伸び率△45%に対し，毎年度，対前年度比で約2%の伸び率を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	92,000	93,000	95,000	97,000	99,000	101,000
実績値	92,957	88,648				
具体的な指標：	史跡咸宜園跡の利用者数					
目標値：	平成 27 年度 21,365 人		⇒		平成 32 年度 24,000 人	
設定根拠：	第6次日田市総合計画で平成31年度の目標値（24千人）と平成39年度の目標値（25千人）を示しており，毎年度平成31年度までは660人，それ以降は125人の増加数を見込んで設定（平成26年度実績：19,529人）。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	21,365	22,000	23,000	23,000	24,000	24,000
実績値	21,365	26,812				

(2. かかあ天下)

具体的な指標：	日本遺産の主な構成文化財等への訪問者数					
目標値：	平成 26 年 21,437 人 ⇒ 平成 32 年 45,100 人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率△6.5%に対し、平成27年度は2%の伸び率、平成28年度以降は、毎年度、対前年度比で16%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	21,800	25,200	29,200	33,800	39,000	45,100
実績値	21,846	25,329				

(3. 加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡)

具体的な指標：	高岡市内施設利用者 [瑞龍寺, 高岡大仏, 鋳物資料館, 土蔵造りのまち資料館]					
目標値：	平成 26 年 171,580 人 ⇒ 平成 32 年 223,000 人					
設定根拠：	高岡市観光推進ビジョンで設定している、対前年度比で平成27年は10%、平成28年は5%、それ以降は3%の伸び率に基づき設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	188,000	198,000	204,000	210,000	216,000	223,000
実績値	263,427	228,335				

(4. 灯(あか)り舞う半島 能登)

具体的な指標：	能登地区の観光客入り込み数					
目標値：	平成 26 年 6,932 千人 ⇒ 平成 32 年 7,780 千人					
設定根拠：	平成27年～平成37年までの10年間の県の観光誘客目標である20%の伸び率を勘案し、毎年、平成26年比で2%を加算した伸び率の達成を設定。					
年	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	7,070	7,210	7,350	7,490	7,630	7,780
実績値	8,203	7,778				
具体的な指標：	キリコ祭り常設展示施設(輪島市(H27.3開館)、七尾市(H32開館予定))の入館者数					
目標値：	平成 27 年度 159,833 人 ⇒ 平成 32 年度 210,000 人					
設定根拠：	平成27年度を基準とし、その後は、維持するととも平成H32年度は和倉温泉お祭り会館の会館による5万人の加算を設定。(平成27年度は、新幹線開業効果等による特殊要因のため維持として設定。)					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	159,833	160,000	160,000	160,000	160,000	210,000
実績値	159,833	107,897				
具体的な指標：	能登の代表的なキリコ祭りの来場者数					
目標値：	平成 27 年度 260,500 人 ⇒ 平成 32 年度 260,000 人					
設定根拠：	平成27年度は新幹線開業により多くの来場者があったため、平成27年度を基準とし、その後は、維持することを設定(平成26年度：246,147人)。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	260,500	260,500	260,500	260,500	260,500	260,500
実績値	260,500	249,450				

(5. 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群)

具体的な指標	小浜市および若狭町の日本遺産発信拠点施設の観光客入込数					
目標値	平成 26 年度 62 万人 ⇒ 平成 32 年度 68 万人					
設定根拠	平成20年度～平成26年度の平均増加数△1万人に対し、毎年度、1万人の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	63	64	65	66	67	68
実績値	63	64				

(6. 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜)

具体的な指標	岐阜城天守閣入城者数					
目標値	平成 26 年度 240,655 人 ⇒ 平成 32 年度 255,094 人					
設定根拠	平成25年度～平成26年度の伸び率2%に対し、毎年、平成26年度比で2%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	245,566	250,682	256,015	261,581	267,394	273,471
実績値	243,098	248,081				

(7. 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮)

具体的な指標	明和町の観光客数					
目標値	平成 26 年度 179,000 人 ⇒ 平成 32 年度 240,000 人					
設定根拠	平成25年度～平成26年度の増加数△8,000人に対し、毎年度、1万人の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	190,000	200,000	210,000	220,000	230,000	240,000
実績値	208,000	204,000				

(8. 琵琶湖とその水辺景観)

具体的な指標	関係7市の入込客数					
目標値	平成 26 年 32,332,700 人 ⇒ 平成 32 年 35,242,643 人					
設定根拠	平成25年度～平成26年度の伸び率2.5%に対し、平成26年度を基準に、平成27年度は3.7%の伸び率、その後、平成32年度までに9%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	34,725,319	34,828,784	34,932,249	35,035,713	35,139,178	35,242,643
実績値	34,385,800	36,890,900 (速報値非公表)				

(9. 日本茶800年の歴史散歩)

具体的な指標	山城地域における観光入り込み客数					
目標値	平成 26 年度 1,106 万人 ⇒ 平成 32 年度 2,554 万人					
設定根拠	平成25年度～平成26年度の伸び率14%に対し、毎年、対前年度比で15%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	1,271	1,461	1,680	1,932	2,221	2,554
実績値	1,145	1,166				

(10. 丹波篠山 デカンション節)

具体的な指標：	篠山市の観光客入込数					
目標値：	平成 26 年度 1,636,000 人 ⇒ 平成 32 年度 2,000,000 人					
設定根拠：	第2次篠山市総合計画の目標値（平成27年度：1,700千人：平成28年度～平成30年度：対前年度50千人増，平成31年度～平成32年度：対前年度100千人増）に基づき設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	1,700,000	1,750,000	1,800,000	1,850,000	1,900,000	2,000,000
実績値	1,669,077	1,721,504				

(11. 日本国創成のとき)

具体的な指標：	主要施設（石舞台古墳）の観光客数					
目標値：	平成 26 年度 243,170 人 ⇒ 平成 32 年度 257,760 人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率0.12%に対し，毎年度，平成26年度比で1%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	245,601	248,033	250,465	252,897	255,329	257,760
実績値	237,749	217,724				

(12. 六根清浄と六感治癒の地)

具体的な指標：	三朝温泉への観光客入込客数					
目標値：	平成 26 年度 366,506人 ⇒ 平成 32 年度 480,000人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率△5.7%に対し，毎年度，平成27年度比で5.2%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	385,000	404,000	423,000	442,000	461,000	480,000
実績値	386,331	365,776				

具体的な指標：	三徳山への観光客入込客数					
目標値：	平成 26 年度 43,362人 ⇒ 平成 32 年度 62,000人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率△3.8%に対し，毎年度，平成27年度比で7.2%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	46,000	50,000	53,000	56,000	59,000	62,000
実績値	48,926	34,925				

(13. 津和野今昔)

具体的な指標：	津和野町の観光要りこみ客数					
目標値：	平成 26 年度 1,136,543 人 ⇒ 平成 32 年度 1,204,000 人					
設定根拠：	平成25年の激甚災害前の観光客入込み数（平成23年度：1,204千人）への回復の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	1,148,000	1,159,000	1,170,000	1,182,000	1,193,000	1,204,000
実績値	1,185,558	1,167,411				

(14. 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市)

具体的な指標：	尾道市観光客数					
目標値：	平成 26 年度 6,425,682 人 ⇒ 平成 32 年度 7,230,000 人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率1%に対し、平成26年度を基準に、平成27年度は約4.3%の伸び率を、その後は毎年度約1.5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	6,700,000	6,800,000	6,900,000	7,000,000	7,110,000	7,230,000
実績値	6,746,966	6,749,030				
具体的な指標：	外国人観光客数					
目標値：	平成 26 年度 132,127 人 ⇒ 平成 32 年度 290,000 人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率40%に対し、平成26年度を基準に、平成27年度は約62%の伸び率を、その後は毎年度約6.3%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	214,000	227,000	241,000	256,000	272,000	290,000
実績値	214,045	270,459				

(15. 「四国遍路」)

具体的な指標：	四国4県の宿泊を伴う観光客の入込客数					
目標値：	平成 26 年度 12,828,590 人 ⇒ 平成 32 年度 13,800,000 人					
設定根拠：	平成24年～平成26年までの対前年度平均伸率1.34%をもとに、毎年度、対前年度比で1.34%の伸び率の達成を設定。					
年	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	13,000,000	13,100,000	13,300,000	13,500,000	13,700,000	13,800,000
実績値	12,984,900	13,026,000				

(16. 古代日本の「西の都」)

具体的な指標：	太宰府市内の年間観光客入れ込み数					
目標値：	平成 26 年度 820 万人 ⇒ 平成 32 年度 1,000 万人					
設定根拠：	平成19年度～平成25年度の観光客数の平均伸び率5.8%に対し、毎年度、平成26年度比で3.7%を加算した伸び率の達成を設定。 ※平成26年度は特殊要因(中国からの大型客船の就航開始)があったため、設定根拠より除く。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	850	880	910	940	970	1,000
実績値	894	869				

(17. 国境の島 壱岐・対馬・五島)

具体的な指標：	壱岐・対馬・五島への観光客延べ数(宿泊客は滞在日数でカウント)					
目標値：	平成 26 年度 2,230 千人 ⇒ 平成 32 年度 2,700 千人					
設定根拠：	長崎県総合計画の平成32年度の目標値(2,700千人)に基づき設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	2,370	2,420	2,490	2,560	2,630	2,700
実績値	2,387	2,360				

(18. 相良700年が生んだ保守と進取の文化)

具体的な指標:	人吉球磨地域の観光客数(暦年)					
目標値:	平成 26 年 3,118,580 人 ⇒ 平成 32 年 3,202,781 人					
設定根拠:	平成25年度～平成26年度の伸び率△4.5%に対し、平成26年度を基準に、平成27年度は1.8%の伸び率を、その後は毎年度0.18%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	3,174,714	3,180,327	3,185,941	3,191,554	3,197,168	3,202,781
実績値	3,175,390	3,051,333				

(19. 政宗が育んだ“伊達”な文化)

具体的な指標:	構成市町内(仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町)の合計観光入込み客数					
目標値:	平成 27 年度 27,922,703 人 ⇒ 平成 33 年度 28,770,925 人					
設定根拠:	平成26年度～平成27年度の4市町の伸び率△4.1%に対し、毎年度、対前年度比0.5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	28,062,317	28,202,628	28,343,641	28,485,359	28,627,786	28,770,925
実績値	27,718,376					

具体的な指標:	仙台からの周遊先としての、日本遺産構成文化遺産松島の観光客入込数					
目標値:	平成 27 年度 5,296,932 人 ⇒ 平成 33 年度 5,457,837 人					
設定根拠:	平成26年度～平成27年度の4市町の伸び率△3.4%に対し、毎年度、対前年度比0.5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	5,323,416	5,350,033	5,376,783	5,403,666	5,430,684	5,457,837
実績値	5,490,505					

具体的な指標:	認定外国人観光案内所の外国人客の利用者数					
目標値:	平成 27 年度 20,630 人 ⇒ 平成 33 年度 36,545 人					
設定根拠:	平成23年度～平成27年度の伸び率の平均10%に対し、毎年度、対前年度比10%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	22,693	24,962	27,458	30,203	33,223	36,545
実績値	26,706					

(20. 自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』)

具体的な指標:	出羽三山における観光入込客数					
目標値:	平成 27 年度 1,017 千人 ⇒ 平成 33 年度 1,526 千人					
設定根拠:	「おもてなし山形県観光計画」における観光者数の数値目標が、6年間(H25→H31)で1.2倍増としており、それに日本遺産認定効果を見込み1.5倍増としたもの					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	1,102	1,186	1,271	1,356	1,441	1,526
実績値	949					

(21. 会津の三十三観音めぐり)

具体的な指標：	会津17市町村観光入込数（極上の会津プロジェクト協議会集計）						
目標値：	平成 27 年		14,864 千人	⇒	平成 33 年		18,431 千人
設定根拠：	極上の会津プロジェクト協議会の観光入込数について、平成27年の震災前（H22）比増加率は11%であったことから、今後、平成27年を基準とし、5年間（H32）で倍となる20%の増加を達成、その後は毎年度4%の伸び率の達成を設定。						
年	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
目標値	15,458	16,053	16,647	17,242	17,836	18,431	
実績値	15,528						

(22. 未来を拓いた「一本の水路」)

具体的な指標：	郡山市及び猪苗代町の観光入込み客数						
目標値：	平成 27 年度		5,256,900 人	⇒	平成 33 年度		6,604,000 人
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び幅は約388,000人であるが、当該年度期間中は震災からの復興過程における状況を考慮し、毎年度、平成28年度比で約63,000人（約1%）を加算した伸び幅の達成を設定（平成28年度は、観測地点の増加により、観光入込数が大幅に増加（平成27年度と同様の観測地点での実績：5,103,634人））						
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
目標値	6,288,739	6,352,000	6,415,000	6,478,000	6,541,000	6,604,000	
実績値	6,288,739						
具体的な指標：	開成館の入館者数						
目標値：	平成 27 年度		9,000 人	⇒	平成 33 年度		10,600 人
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率2.9%に対し、毎年度、平成27年度比で3%を加算した伸び幅の達成を設定						
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
目標値	9,200	9,500	9,800	10,000	10,300	10,600	
実績値	10,013						

(23. 「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」)

事業概要：	佐倉市・成田市・香取市・銚子市の観光入込数						
目標値：	平成 27 年度		22,608,426 人	⇒	平成 33 年度		26,995,642 人
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率2%に対し、毎年度、対前年度比で3%の伸び率の達成を設定。						
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
目標値	23,286,679	23,985,279	24,704,837	25,445,982	26,209,361	26,995,642	
実績値	24,722,013						

(24. 江戸庶民の信仰と行楽の地)

具体的な指標：	伊勢原市への入込み客数						
目標値：	平成 22～26 年度		174 万人	⇒	平成 33 年度		270 万人
設定根拠：	平成22～26年度5箇年平均での観光客入込み客数174万人に対し、平成33年度までに1.5倍を設定。						
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	
目標値	190	206	222	238	254	270	
実績値	186						

(25. 「いざ、鎌倉」)

具体的な指標：	延べ観光客数					
目標値：	平成 27 年度 2,196 万人 ⇒ 平成 33 年度 2,196 万人					
設定根拠：	第3期鎌倉市観光基本計画における平成37年度の目標値(2,196万人：平成26年度実績値を現状維持するもの)に基づき、毎年度、2,196万人と設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2,196	2,196	2,196	2,196	2,196	2,196
実績値	2,128					

(26. 「なんだ、コレは！」 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化)

具体的な指標：	構成自治体観光客入込み数					
目標値：	平成 27 年度 33,914 千人 ⇒ 平成 33 年度 35,950 千人					
設定根拠：	平成26年度から平成27年度の伸び率は8%であるが経済状況等で観光客数は大きく左右されることから、毎年度、平成27年度比で1%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	34,250	34,590	34,931	35,270	35,610	35,950
実績値	32,031					

具体的な指標：	構成自治体観光客入込み数：目的別(歴史文化)					
目標値：	平成 27 年度 5,051 千人 ⇒ 平成 33 年度 5,455 千人					
設定根拠：	平成26年度から平成27年度の伸び率は8%であるが経済状況等で観光客数は大きく左右されることから、毎年度、平成27年度比で1.3%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	5,118	5,186	5,253	5,320	5,388	5,455
実績値	5,038					

具体的な指標：	構成自治体の主要博物館等の入館者数					
目標値：	平成 27 年度 273 千人 ⇒ 平成 33 年度 295 千人					
設定根拠：	平成26年度から平成27年度の伸び率は8%であるが経済状況等で観光客数は大きく左右されることから、毎年度、平成27年度比で1.3%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	277	280	284	288	291	295
実績値	251					

(27. 『珠玉と歩む物語』小松)

具体的な指標：	石の文化拠点施設(企画展含む)への来館者数					
目標値：	平成 27 年度 163,018 人 ⇒ 平成 33 年度 190,000 人					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率マイナス20.5%に対し、平成30年度までは、毎年度、対前年度比で3.4%の伸び率を、その後は、毎年度、対前年度比で1.7%の伸び率の達成を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	169,000	175,000	181,000	184,000	187,000	190,000
実績値	178,958					

(28. 木曽路はすべて山の中)

具体的な指標:	構成市町村内の観光入込み客数					
目標値:	平成 27 年度 284 万人 ⇒ 平成 33 年度 355 万人					
設定根拠:	平成26年度～平成27年度の伸び率△2%に対し、毎年度、平成27年度比で4%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	296	308	319	331	343	355
実績値	285					
具体的な指標:	木曽路を歩く外国人旅行者数					
目標値:	平成 27 年度 13,000 人 ⇒ 平成 33 年度 24,700 人					
設定根拠:	平成21年度～平成27年度の平均対前年度比伸び率31.6%に対し、毎年度、対前年度比で30.0%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	16,900	21,970	28,560	37,130	48,270	62,750
実績値	17,000					

(29. 飛騨匠の技・こころ)

具体的な指標:	観光客入込み数					
目標値:	平成 27 年 4,341 千人 ⇒ 平成 33 年 5,000 千人					
設定根拠:	総合計画では平成36年に5,000千人を目標とするが、平成33年に目標を前倒しする。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	4,451	4,561	4,670	4,780	4,890	5,000
実績値	4,511					
具体的な指標:	伝統文化交流拠点施設への入館者数					
目標値:	平成 27 年度 0 人 ⇒ 平成 33 年度 130,000 人					
設定根拠:	近隣にある「飛騨高山まちの博物館」施設の平成23年度(当初オープン時)入館者数(10万人)と同程度を供用開始の平成30年度の目標とし、「飛騨高山まちの博物館」施設の平成26年度～平成27年度の増加数1万人に対し、伝統文化交流拠点施設についても毎年度、1万人の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	—	100,000	110,000	120,000	130,000
実績値	—	—				

(30. 『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」)

具体的な指標:	観光入込客数					
目標値:	平成 27 年度 13,723 千人 ⇒ 平成 33 年度 17,360 千人					
設定根拠:	平成24年度～平成25年度の伸び率△1.1%に対し、毎年度、対前年度比で4%の伸び率の達成を設定。(平成26、27年度は特殊要因(「観測地増設」「花緑フェア」)があったため、設定根拠より除く。)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	14,271	14,841	15,434	16,051	16,693	17,360
実績値	12,777					

(31. 森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ)

具体的な指標：	地域の観光客数					
目標値：	平成 27 年度 2,800 千人 ⇒ 平成 33 年度 3,151 千人					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率2%に対し、毎年度、対前年度比で2%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2,856	2,913	2,971	3,030	3,090	3,151
実績値	2,856					

(32. 鯨とともに生きる)

具体的な指標：	対象エリア内の観光客入込み数					
目標値：	平成 27 年 4,275,818 人 ⇒ 平成 33 年 4,404,000 人					
設定根拠：	過去10年間の対象エリアの観光入込客数の伸び率が横ばいに対し、平成27年度を基準とし、平成33年度までに約3%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	4,297,000	4,318,000	4,339,000	4,361,000	4,382,000	4,404,000
実績値	4,249,848					

(33. 地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市)

具体的な指標：	大山周辺観光入込客数					
目標値：	平成 27 年度 137 万人 ⇒ 平成 33 年度 197 万人					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の増加数10万人に対し、毎年度、同程度の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	147	157	167	177	187	197
実績値	131					

(34. 出雲國たたら風土記)

具体的な指標：	3市町全体の観光入込客数					
目標値：	平成 27 年度 3,583,094 人 ⇒ 平成 33 年度 3,803,524 人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率△5.4%に対し、毎年度、対前年度比で1%の伸び率の達成を設定。(平成27年度は特殊要因(「松江城国宝指定、尾道松江線全線開通」)があったため、設定根拠より除く。)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	3,618,924	3,655,113	3,691,664	3,728,580	3,765,866	3,803,524
実績値	3,887,646					
具体的な指標：	3市町道の駅への観光入込客数					
目標値：	平成 27 年度 1,287,328 人 ⇒ 平成 33 年度 1,455,763 人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率△3.9%に対し、毎年度、対前年度比で1%の伸び率の達成を設定。(平成27年度は特殊要因(「松江城国宝指定、尾道松江線全線開通」)があったため、設定根拠より除く。)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	1,318,530	1,344,900	1,371,798	1,399,234	1,427,219	1,455,763
実績値	1,258,819					

(35. 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴)

具体的な指標：	認定地域の入込観光客数					
目標値：	平成 27 年度 2,014 万人 ⇒ 平成 33 年度 2,310 万人					
設定根拠：	認定地域の入込観光客数の目標値の合計値					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2,077	2,140	2,182	2,223	2,266	2,310
実績値	1,972					
具体的な指標：	入込観光客数（横須賀市）					
目標値：	平成 27 年度 873 万人 ⇒ 平成 33 年度 950 万人					
設定根拠：	横須賀市観光立市推進基本計画に基づく横須賀市観光立市推進アクションプランの平成33年度目標値（950万人）に基づき設定（平成27年度実績：873万人）。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	886	898	911	923	937	950
実績値	825					
具体的な指標：	入込観光客数（呉市）					
目標値：	平成 27 年度 308 万人 ⇒ 平成 33 年度 348 万人					
設定根拠：	第4次呉市長期総合計画（後期基本計画）の平成32年度の目標値340万人（対前年度比2%増）に、認定効果として毎年度1万人の増加数を見込んで設定（平成27年度実績：336万人）。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	315	321	328	334	341	348
実績値	336					
具体的な指標：	入込観光客数（佐世保市）					
目標値：	平成 27 年度 604 万人 ⇒ 平成 33 年度 679 万人					
設定根拠：	第6次佐世保市総合計画（後期基本計画・地方創生目標値）で平成29年度の目標値（656万9千人）を示しており、その後は、観光客数については成熟期に入っているため、緩やかな伸びになると想定されるため、毎年5万5千人の増加数を見込んで設定（平成27年度実績：592万人）。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	630	657	662	668	673	679
実績値	571					
具体的な指標：	入込観光客数（舞鶴市）					
目標値：	平成 27 年度 229 万人 ⇒ 平成 33 年度 333 万人					
設定根拠：	舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略で平成31年度の目標値（298万人）を示しており、それを達成するため、毎年度、17.25万人の増加数を見込んで設定（平成27年度実績：229万人）					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	246	264	281	298	315	333
実績値	240					

具体的な指標：	認定地域の日本遺産の主要構成文化財の入込数					
目標値：	平成 26 年度 2,664 千人 ⇒ 平成 33 年度 3,817 千人					
設定根拠：	認定地域の主要構成文化財の入込数の目標値の合計値					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2,954	3,127	3,302	3,471	3,643	3,817
実績値	2,950					
具体的な指標：	日本遺産の主要構成文化財の入込数(横須賀市：猿島, ヴェルニー公園)					
目標値：	平成 26 年度 1,217 千人 ⇒ 平成 33 年度 1,523 千人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率3.8%に対し、平成26年度を基準に、平成27年度は現状維持、その後は毎年度、対前年度比3.8%の伸び率の達成を設定。※平成27年度は特殊要因(周年事業)があったため、設定根拠より除く。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	1,263	1,311	1,361	1,413	1,467	1,523
実績値	1,140					
具体的な指標：	日本遺産の主要構成文化財の入込数(呉市：大和ミュージアム, 入船山記念館)					
目標値：	平成 26 年度 896 千人 ⇒ 平成 33 年度 953 千人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率△3.5%に対し、平成26年度を基準に、平成27年度は現状維持、その後は毎年度、対前年度比1%(入船山は2%)の伸び率の達成を設定。※平成27年度は特殊要因(「周年事業」)があったため、設定根拠より除く。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	905	915	924	933	943	953
実績値	978					
具体的な指標：	日本遺産の主要構成文化財の入込数(佐世保市：自衛隊施設, 針尾無線塔, 無窮洞見学)					
目標値：	平成 27 年度 136 千人 ⇒ 平成 33 年度 161 千人					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率6.5%に対し、対前年度比で、平成28年度は7.5%の伸び率を、平成29年度及び平成30年度は前年度比5%の伸び率で設定した。平成31年度以降はその増加した入込数を維持することを目標に設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	146	153	161	161	161	161
実績値	126					
具体的な指標：	日本遺産の主要構成文化財の入込数(舞鶴市：舞鶴赤れんがパーク, 自衛隊施設見学)					
目標値：	平成 27 年度 532 千人 ⇒ 平成 33 年度 1,180 千人					
設定根拠：	平成26年から平成27年の入込数が約108千人増加のため、毎年度108千人加算した数値の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	640	748	856	964	1,072	1,180
実績値	706					

(36. “日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島)

具体的な指標：	認定地域の観光入込客数					
目標値：	平成 27 年度 954 万人 ⇒ 平成 33 年度 1,049 万人					
設定根拠：	認定地域の観光入込客数の目標値の合計値					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	967	980	994	1,011	1,031	1,050
実績値	953					
具体的な指標：	観光入込客数（今治市）					
目標値：	平成 27 年度 284 万人 ⇒ 平成 33 年度 316 万人					
設定根拠：	地域再生計画で平成32年度までの年度ごとの目標値（最終：308万人）を示しており、平成33年度は、平成32年度と同水準の増加数を見込んで設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	287	290	294	300	308	316
実績値	278					
具体的な指標：	観光入込客数（尾道市）					
目標値：	平成 26 年度 643 万人 ⇒ 平成 33 年 734 万人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の伸び率1%に対し、平成26年度を基準に、平成27年度は約4.3%の伸び率（670万人）を、その後は毎年度約1.5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	680	690	700	711	723	734
実績値	675					

(37. 日本磁器のふるさと 肥前)

具体的な指標：	肥前窯業圏内の主要文化施設の入館者数					
目標値：	平成 27 年度 205,000 人 ⇒ 平成 33 年度 274,000 人					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率△1.5%に対し、毎年度、対前年度比で5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	215,000	226,000	237,000	249,000	261,000	274,000
実績値	226,000					

(38. 江差の五月は江戸にもない)

具体的な指標：	国内観光客					
目標値：	平成 27 年度 335 千人 ⇒ 平成 34 年度 485 千人					
設定根拠：	平成27年度～平成28年度の上半期の伸び率4%に対し、対前年度比で、平成29年度までは4%、その後は6%の伸び率を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	362	384	407	432	458	485
実績値						

具体的な指標：	外国人観光客					
目標値：	平成 27 年度 119 人 ⇒ 平成 34 年度 20,000 人					
設定根拠：	平成27年度の実績をベースとして、平成30年度から約4,000人ずつ増加するとして設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	119	4,000	8,000	12,000	16,000	20,000
実績値						

(39. 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間)

具体的な指標：	11市町における観光客入込客数の増加					
目標値：	平成 28 年度 4,770 万人 ⇒ 平成 34 年度 5,630 万人					
設定根拠：	平成26年度～平成28年の平均伸び率2%に対し、毎年度、平成28年度比で3%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	4,910	5,060	5,200	5,340	5,490	5,630
実績値						

(40. サムライゆかりのシルク)

具体的な指標：	関係施設等への入込客数					
目標値：	平成 27 年度 62,900 人 ⇒ 平成 34 年度 75,100 人					
設定根拠：	平成23年度～平成27年度の平均伸び率△4.5%に対し、平成27年度を基準に、平成29年度以降、毎年度、対前年度比で3%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	64,800	66,700	68,700	70,800	72,900	75,100
実績値						

(41. 和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田)

具体的な指標：	行田市の観光客入込み数					
目標値：	平成 28 年度 150万 人 ⇒ 平成 34 年度 200万 人					
設定根拠：	平成26年度～平成28年度の平均対前年度比伸び率△1.5%に対し、毎年度、対前年度比で5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	157	165	173	181	190	200
実績値						

(42. 忍びの里 伊賀・甲賀)

具体的な指標：	伊賀市・甲賀市における観光客数					
目標値：	平成 27 年度 5,674,000 人 ⇒ 平成 34 年度 6,000,000 人					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率0.4%に対し、平成27年度を基準に、平成29年度までは0.4%の伸び率を、平成30年度以降は、毎年度1.0%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	5,720,000	5,776,000	5,832,000	5,888,000	5,944,000	6,000,000
実績値						

(4 3 . 300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊)

具体的な指標 :	観光入込客数 (丹後地域 (宮津市, 京丹後市, 与謝野町, 伊根町))					
目標値 :	平成 27 年度 6,125,126 人 ⇒ 平成 34 年度 7,688,000 人					
設定根拠 :	平成23～27年度の平均増減率 (対前年度比約2.3%増) に対し, 毎年度, 対前年度比で3.3%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	6,536,054	6,751,744	6,974,552	7,204,712	7,442,467	7,688,000
実績値						

(4 4 . 1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」)

具体的な指標 :	構成文化財や周辺の観光案内所などへの来訪者数					
目標値 :	平成 28 年度 160,000 人 ⇒ 平成 34 年度 200,000 人					
設定根拠 :	平成26年度～平成27年度の伸び率0.05%に対し, 毎年度, 平成28年度比で4.2%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	166,000	173,000	180,000	186,000	193,000	200,000
実績値						

(4 5 . 播但貫く, 銀の馬車道 鉱石の道)

具体的な指標 :	播但地域 (兵庫県中播磨地域・但馬地域) への観光客入れ込み数					
目標値 :	平成 26 年度 20,784 千人 ⇒ 平成 34 年度 29,640 千人					
設定根拠 :	兵庫県地域創生戦略KPIの増加数603千人に対し, 平成29年度以降は, 毎年1,275千人の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	23,265	24,540	25,815	27,090	28,365	29,640
実績値						

(4 6 . 絶景の宝庫)

具体的な指標 :	和歌山市・海南市の観光客総数					
目標値 :	平成 28 年度 7,826,167 人 ⇒ 平成 34 年度 8,209,400 人					
設定根拠 :	平成27年度～平成28年度の伸び率0.8%に対し, 毎年度, 対前年度比で0.8%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	7,888,800	7,951,900	8,015,500	8,079,600	8,144,300	8,209,400
実績値						

(4 7 . 「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地)

具体的な指標 :	湯浅町の観光客数					
目標値 :	平成 27 年 508,049 人 ⇒ 平成 34 年 800,000 人					
設定根拠 :	平成20年からの伸び率130%に対し, 目標伸び率を150%に設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	574,000	619,000	664,000	709,000	754,000	800,000
実績値						

(48. 日が沈む聖地出雲)

具体的な指標：	観光客入込み数					
目標値：	平成 28 年 1,198 万人 ⇒ 平成 34 年 1,200 万人					
設定根拠：	「出雲未来図」後期基本計画で平成33年度の目標値（1,200万人）を示しており、毎年度、4千人の増加数を見込んで設定。					
年	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	1,198	1,199	1,199	1,200	1,200	1,200
実績値						

(49. 一輪の綿花から始まる倉敷物語)

具体的な指標：	市内にある主要観光地の観光客数					
目標値：	平成 27 年 5,287 千人 ⇒ 平成 34 年 6,500 千人					
設定根拠：	倉敷市観光振興プログラムで平成31年の目標値（6,000千人）を示しており、毎年、178千人の増加数を見込んで設定。					
年	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	5,600	5,800	6,000	6,200	6,400	6,500
実績値						

(50. きっと恋する六古窯)

具体的な指標：	認定地域の域内又は施設等への観光来訪者数					
目標値：	平成 28 年度 7,794,998 人 ⇒ 平成 34 年度 9,242,070 人					
設定根拠：	認定地域の観光来訪者数の目標値の合計値					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	8,149,604	8,361,581	8,574,762	8,796,953	9,029,454	9,242,070
実績値						
具体的な指標：	越前陶芸村への観光来訪者数（越前町）					
目標値：	平成 28 年度 113,647 人 ⇒ 平成 34 年度 135,700 人					
設定根拠：	平成27年度～平成28年度の伸び率△5.7%に対し、毎年度、対前年度比で3%加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	117,056	120,568	124,185	127,911	131,748	135,700
実績値						
具体的な指標：	瀬戸市の観光来訪者数（瀬戸市）					
目標値：	平成 28 年度 2,050,000 人 ⇒ 平成 34 年度 2,087,000 人					
設定根拠：	第6次瀬戸市総合計画で平成31年度の目標値（206.9万人）を示しており、平成31年度までは、毎年度、平成28年度比で0.3%を加算した伸び率を、それ以降は、毎年度、対前年度比で0.3%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	2,056,000	2,062,000	2,069,000	2,075,000	2,081,000	2,087,000
実績値						

具体的な指標：	やきもの散歩道の観光客数（常滑市）					
目標値：	平成 27 年度 262万 人 ⇒ 平成 34 年度 355万 人					
設定根拠：	常滑市観光振興計画の平成34年度目標値（355万人）に基づき設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	289	302	315	328	342	355
実績値						
具体的な指標：	甲賀市観光入込客数（甲賀市）					
目標値：	平成 27 年度 2,930,000 人 ⇒ 平成 34 年度 3,370,000 人					
設定根拠：	甲賀市観光振興計画の目標値（H27 293万人，H31 314万人，H32 322万人，H36 352万人，H40 381万人）に基づき設定。※明示されている目標年度の数値を踏まえて算定）					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	3,000,000	3,070,000	3,140,000	3,220,000	3,300,000	3,370,000
実績値						
具体的な指標：	丹波立杭陶芸公園陶の郷入園者数（篠山市）					
目標値：	平成 27 年度 73,131 人 ⇒ 平成 34 年度 90,000 人					
設定根拠：	平成23年度～平成27年度の5ヶ年の平均伸び率2.2%に対し，毎年度，平成27年度比3.3%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	78,000	80,300	82,700	85,000	87,500	90,000
実績値						
具体的な指標：	備前市立備前焼ミュージアムの入館者数（備前市）					
目標値：	平成 27 年度 8,220 人 ⇒ 平成 34 年度 9,370 人					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率△1%に対し，毎年度，平成27年度比で2%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	8,548	8,713	8,877	9,042	9,206	9,370
実績値						

（51. 森林鉄道から日本一のゆずロードへ）

具体的な指標：	中芸5町村の観光施設等への入込客数					
目標値：	平成 28 年 515,931 人 ⇒ 平成 34 年 562,823 人					
設定根拠：	平成26年～平成28年の伸び率0%に対し，毎年，対前年比で1%の伸び率の達成を設定。その他，平成32年に開設予定の中芸日本遺産センター（仮称）の入館見込み15,000人を平成33年に見込んで設定。					
年	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	521,091	526,302	531,566	536,882	557,250	562,823
実績値						

(52. 関門“ノスタルジック”海峡)

具体的な指標：	北九州市・下関市の観光客数						
目標値：	平成 28 年度		1,838 万人	⇒	平成 34 年度		2,326 万人
設定根拠：	毎年の増加率を、過去3年間の平均増加率（1.7%）の2倍以上（4%）として目標設定。						
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
目標値	1,912	1,988	2,068	2,150	2,236	2,326	
実績値							

(53. 米作り，二千年にわたる大地の記憶)

具体的な指標：	4市町（玉名市，山鹿市，菊池市及び和水町）の平均観光客入込み数						
目標値：	平成 27 年		250万 人	⇒	平成 34 年		270万 人
設定根拠：	平成27年度4市町観光入込客数の伸び率0.6%に対し，平成28年度は同程度の伸び率，平成29年度以降は，毎年，対前年度比で1.2%の達成を設定。						
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
目標値	255	258	261	264	267	270	
実績値							

(54. やばけい遊覧)

具体的な指標：	中津市，玖珠町の観光客数						
目標値：	平成 28 年度		4,626,000 人	⇒	平成 34 年度		5,042,340 人
設定根拠：	平成28年度に策定した第5次中津市総合計画で平成23年～平成27年の平均人数（4,639,810人）を基準に平成38年の目標値（5,340,000人）を設定（伸び率15%（1.5%/年））していたが，平成28年度に発生した地震の影響で観光客数が減少したことを踏まえ，平成28年度を基準とし，毎年度，平成28年度比で1.5%を加算した伸び率の達成を設定。						
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
目標値	4,695,390	4,764,780	4,834,170	4,903,560	4,972,950	5,042,340	
実績値							

認定地域指標一覧

①日本遺産を活用した集客・活性化

その他

(2. かかあ天下)

具体的な指標：	日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」ホームページアクセス数					
目標値：	平成 28 年度 10,000 件 ⇒ 平成 32 年度 30,000 件					
設定根拠：	平成28年度までに10,000件のアクセス件数の獲得を行い、その後、毎年度、5,000件の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000
実績値	408	17,775				

(3. 加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡)

具体的な指標：	高岡市宿泊者数					
目標値：	平成 26 年 220,379 人 ⇒ 平成 32 年 286,400 人					
設定根拠：	高岡市観光推進ビジョンで設定している、対前年度比で平成27年は5%、平成28年は3%、平成29年は10%（新規ホテルの立地）、それ以降は3%の伸び率に基づき設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	231,300	238,300	262,100	270,000	278,100	286,400
実績値	256,806	253,906				

(8. 琵琶湖とその水辺景観)

具体的な指標：	関係7市の宿泊者数					
目標値：	平成 26 年度 275 万人 ⇒ 平成 32 年度 330 万人					
設定根拠：	平成25年度～平成26年度の増加数98,000人に対し、毎年度、10万人の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	280	290	300	310	320	330
実績値	309	300 (速報値非公表)				

(10. 丹波篠山 デカンショ節)

具体的な指標：	空き家提供者と希望者のマッチング事業による定住件数					
目標値：	平成 26 年度 65 件 ⇒ 平成 32 年度 80 件					
設定根拠：	第2次篠山市総合計画の目標値（平成27年度：70件、平成30年度：80件）に基づき設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	70	70	70	80	80	80
実績値	79	76				

(16. 古代日本の「西の都」)

具体的な指標	観光客の平均滞在時間					
目標値	平成 24 年度 168.6 分 ⇒ 平成 32 年度 6 時間					
設定根拠	平成24年度を基準とし、平成27年度以降、毎年度30分程度の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
実績値	—	215分 (3.5)	—	—		

(18. 相良700年が生んだ保守と進取の文化)

具体的な指標	人吉球磨地域の宿泊者数(暦年)					
目標値	平成 26 年 244,133 人 ⇒ 平成 32 年 248,771 人					
設定根拠	平成25年度～平成26年度の伸び率△3.8%に対し、平成26年度を基準に、平成27年度は1.3%の伸び率を、その後は毎年度0.12%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	247,306	247,599	247,892	248,185	248,478	248,771
実績値	247,325	247,927				

(22. 未来を拓いた「一本の水路」)

具体的な指標	郡山市及び猪苗代町のインバウンド宿泊者数					
目標値	平成 27 年度 9,101 人 ⇒ 平成 33 年度 19,400 人					
設定根拠	平成26年度～平成27年度の伸び幅は約3,000人であるが、当該年度期間中は震災からの復興過程における状況を考慮し、毎年度、平成28年度比で約1,300人(約10%)を加算した伸び幅の達成を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	12,890	14,200	15,500	16,800	18,100	19,400
実績値	12,890					

(23. 「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」)

具体的な指標	佐倉市・成田市・香取市・銚子市の外国人宿泊者数					
事業概要	平成 27 年度 1,706,451 人 ⇒ 平成 33 年度 6,509,598 人					
設定根拠	平成26年度～平成27年度の伸び率24.9%に対し、毎年度、対前年度比で25%の伸び率の達成を設定。(ただし、今後ホテル、空港等の整備状況をみて、目標値を再考)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2,133,064	2,666,330	3,332,913	4,166,142	5,207,678	6,509,598
実績値	1,390,262					

(24. 江戸庶民の信仰と行楽の地)

具体的な指標	観光客の消費額					
目標値	平成 26 年度 1,900,000 千円 ⇒ 平成 33 年度 2,850,000 千円					
設定根拠	平成26年度の観光客の消費額1,900,000千円に対し、平成33年度までに1.5倍を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2,058,000	2,217,000	2,375,000	2,533,000	2,692,000	2,850,000
実績値	2,228,898					

(25. 「いざ、鎌倉」)

具体的な指標：	観光消費額					
目標値：	平成 27 年度 893 億円 ⇒ 平成 33 年度 983 億円					
設定根拠：	第3期鎌倉市観光基本計画で平成37年度の目標値(1,036億円)を示しており、毎年度、15億円の増加数を見込んで設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	908	923	938	953	968	983
実績値	813					
具体的な指標：	観光客の満足度					
目標値：	平成 27 年度 79.5 % ⇒ 平成 33 年度 86 %					
設定根拠：	第3期鎌倉市観光基本計画における平成37年度の目標値(90%)に基づき、平成33年度目標値を設定し、毎年度1%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	81	82	83	84	85	86
実績値	76.9					

(35. 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴)

具体的な指標：	観光消費額(横須賀市)					
目標値：	平成 27 年度 436 億円 ⇒ 平成 33 年度 595 億円					
設定根拠：	横須賀市観光立市推進基本計画に基づく横須賀市観光立市推進アクションプランの平成33年度目標値(595億円)に基づき設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	545	553	564	573	584	595
実績値	588					
具体的な指標：	1人当たり観光消費額(呉市)					
目標値：	平成 27 年度 6,122 円 ⇒ 平成 33 年度 6,537 円					
設定根拠：	呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成31年度目標値6,370円(毎年1%増)に、認定効果を加味し、毎年度0.1%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	6,189	6,257	6,326	6,395	6,466	6,537
実績値	6,162					
具体的な指標：	観光(推定)消費額(佐世保市)					
目標値：	平成 27 年度 1,275 億円 ⇒ 平成 33 年度 1,442 億円					
設定根拠：	第6次佐世保市総合計画(後期基本計画)で平成29年度の目標値(1,387億円)を示しており、その後は、平成28年の熊本地震の影響を受け、顕著に消費単価が下がったことを受け、対前年比約1%の増加数を見込んで設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	1,331	1,387	1,400	1,414	1,428	1,442
実績値	1,208					

具体的な指標：	観光消費額（舞鶴市）					
目標値：	平成 27 年度 37 億円 ⇒ 平成 33 年度 119.6 億円					
設定根拠：	舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略で平成33年度の目標値（119.6億円）を示しており、毎年度、約13.77億円の増加数を見込んで設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	50.8	64.5	78.3	92.1	105.9	119.6
実績値	40.6					

（４８．日が沈む聖地出雲）

具体的な指標：	インバウンドへの寄与〔外国人宿泊客延べ数〕					
目標値：	平成 28 年 6,100 人 ⇒ 平成 34 年 10,800 人					
設定根拠：	「出雲未来図」後期基本計画で平成33年度の目標値（1万人）を示しており、毎年度、780人の増加数を見込んで設定。					
年	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	6,900	7,700	8,400	9,200	10,000	10,800
実績値						

（４９．一輪の綿花から始まる倉敷物語）

具体的な指標：	市内の宿泊者数					
目標値：	平成 27 年 1,003 千人 ⇒ 平成 34 年 1,350 千人					
設定根拠：	倉敷市観光振興プログラムで平成31年の目標値（1,200千人）を示しており、毎年、49千人の増加数を見込んで設定。					
年	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	1,100	1,150	1,200	1,250	1,300	1,350
実績値						
具体的な指標：	市内の外国人宿泊者数					
目標値：	平成 27 年 46,948 人 ⇒ 平成 34 年 70,000 人					
設定根拠：	倉敷市観光振興プログラムで平成31年の目標値（60,000千人）を示しており、毎年、3,260千人の増加数を見込んで設定。					
年	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	53,000	57,000	60,000	63,000	67,000	70,000
実績値						
具体的な指標：	市内事業所の製造品出荷額等					
目標値：	平成 28 年 50,594 億円 ⇒ 平成 34 年 51,900 億円					
設定根拠：	倉敷市第六次総合計画で平成32年度の目標値（51,900億円）を示しており、その後は、維持することを設定。					
年	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	50,921	51,247	51,574	51,900	51,900	51,900
実績値						

具体的な指標：	倉敷市第六次総合計画「まちづくり指標」市民アンケート調査の「地域の産業が活性化している」と思っている人の割合					
目標値：	平成 28 年度 31.3 % ⇒ 平成 34 年度 42.8 %					
設定根拠：	倉敷市第六次総合計画で平成32年度の目標値（39.0%）を示しており、毎年度、1.92%の増加数を見込んで設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	33.3	35.2	37.1	39.0	40.9	42.8
実績値						

(50. きっと恋する六古窯)

具体的な指標：	越前焼の売り上げ高（越前町）					
目標値：	平成 27 年度 157,000 千円 ⇒ 平成 34 年度 223,500 千円					
設定根拠：	第二次越前町総合振興計画で平成31年度の目標値（195,000千円）を示しており、毎年度、9,500千円の増加数を見込んで設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	176,000	185,500	195,000	204,500	214,000	223,500
実績値						

(52. 関門“ノスタルジック”海峡)

具体的な指標：	北九州市・下関市の宿泊者数					
目標値：	平成 28 年度 252 万人 ⇒ 平成 34 年度 318 万人					
設定根拠：	毎年の増加率を、観光客数の増加率（過去3年間の平均増加率（1.7%）の2倍以上）と同じ4%として目標設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	262	272	283	294	306	318
実績値						

(54. やばけい遊覧)

具体的な指標：	中津市、玖珠町の宿泊客数					
目標値：	平成 28 年度 289,000 人 ⇒ 平成 34 年度 306,340 人					
設定根拠：	平成28年度に策定した第5次中津市総合計画で平成23年～平成27年の平均人数（253,556人）を基準に平成38年の目標値（280,000人）を設定（伸び率10%（1.0%/年））していたが、平成28年度に発生した地震の影響で観光客数が減少したことを踏まえ、平成28年度を基準とし、毎年度、平成28年度比で1.0%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	291,890	294,780	297,670	300,560	303,450	306,340
実績値						

認定地域指標一覧

②日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化

地域の文化に誇りを感じる住民の割合

(1. 近世日本の教育遺産群)

具体的な指標：	水戸市における市民向けの出前講座や文化財を巡るツアーの参加者に対するアンケートで地域の文化財に誇りを感じる市民の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 32 年度 105 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、平成32年度までに5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	101	103	105
実績値	—	—				
具体的な指標：	足利市における市民向け学習講座・講演会等におけるアンケート調査の「日本遺産足利学校など郷土の歴史や文化に誇りを感じる人」の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 32 年度 105 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、平成32年度までに5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	101	103	105
実績値	—	—				
具体的な指標：	備前市市民意識調査の「歴史文化の活用と伝統文化の継承」の満足度（満足：5点～わからない：0点）					
目標値：	平成 27 年度 2.70 点 ⇒ 平成 32 年度 2.97 点					
設定根拠：	平成27年の満足度に対し、1.1倍の上昇を設定					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	2.70	2.75	2.81	2.86	2.92	2.97
実績値	2.70	(H27年より隔年で調査)				
具体的な指標：	日田市における市民向け学習講座・講演会等におけるアンケート調査の「威宜園や豆田町など地域文化に誇りを感じる市民」の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 32 年度 105 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、平成32年度までに5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	101	103	105
実績値	—	—				

(2. かかあ天下)

具体的な指標：	群馬県のことを県外の人に自慢することができる県民の割合					
目標値：	平成 26 年度 67.6 % ⇒ 平成 32 年度 82.5 %					
設定根拠：	群馬県第15次総合計画で平成31年度の目標値（80.0%）を示しており、毎年度、2.5%の伸び率を見込んで設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	70.0	72.5	75.0	77.5	80.0	82.5
実績値	—	44.8				

(3. 加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡)

具体的な指標:	高岡の良さを再発見することが出来たと感じる小・中学生の割合（「ものづくり・デザイン科」等の成果）					
目標値:	平成 26 年度		約91.8 %	⇒	平成 32 年度	
					約91.8 % (目標)	
設定根拠:	「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土に誇りを持ったり、高岡の良さを再発見したりすることができたと思う児童生徒の割合…満足度を指標とすることから、平成26年度の水準の維持を目標値とする。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	91.8	91.8	91.8	91.8	91.8	91.8
実績値	91.7	91.5				

(4. 灯（あか）り舞う半島 能登)

具体的な指標:	歴史文化遺産を重要と考える人の割合					
目標値:	平成 26 年度		79 %	⇒	平成 32 年度	
					91 %	
設定根拠:	毎年2%の増加を目標とする					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	81	83	85	87	89	91
実績値	82	—				

(5. 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群)

具体的な指標:	住民アンケートの「日本遺産活用満足度」の割合					
目標値:	平成 29 年度		100 %	⇒	平成 32 年度	
					130 %	
設定根拠:	平成29年度を基準とし、平成32年度までに30%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	110	120	130
実績値	—	—				

(6. 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜)

具体的な指標:	イベントにおけるアンケート調査の「地域の文化財を郷土の誇りと感じる住民」の割合					
目標値:	平成 29 年度		100 %	⇒	平成 32 年度	
					160 %	
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年、平成29年度比で20%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	120	140	160
実績値	—	—				

(7. 祈る皇女齋王のみやこ 齋宮)

具体的な指標:	アンケート調査の「明和町の魅力や誇りに思うこと」の質問で「歴史・史跡」と回答する割合					
目標値:	平成 26 年度		32 %	⇒	平成 32 年度	
					50 %	
設定根拠:	平成26年度を基準とし、毎年度、3%の増加の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	35	38	41	44	47	50
実績値	—	—				

(8 . 琵琶湖とその水辺景観)

具体的な指標：	県政世論調査における「誇ることができる文化」のうち、「魅力ある風景」の回答率						
目標値：	平成 25 年度	50.8 %			⇒	平成 32 年度	64.3 %
設定根拠：	平成25年度調査で最も高かった「有形文化財」の回答率と同率まで上昇させる。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	50.8	50.8	50.8	64.3	64.3	64.3	
実績値	—	—	—		—	—	

(9 . 日本茶800年の歴史散歩)

具体的な指標：	住んでいる地域（市町村）について個性や魅力を感じている人の割合						
目標値：	平成 26 年度	62 %			⇒	平成 32 年度	68 %
設定根拠：	平成26年度を基準（平成26年度に新たに設定）とし、毎年度、平成26年度に1%の加算を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	63	64	65	66	67	68	
実績値	54	54					

(1 0 . 丹波篠山 デカンショ節)

具体的な指標：	「兵庫のゆたかさ指標」の動向（住んでいる地域に愛着や誇りを感じる住民の割合）（丹波）						
目標値：	平成 26 年度	66 %			⇒	平成 32 年度	70 %
設定根拠：	平成26年度を基準とし、平成32年度までに70%（毎年度0.5%の増）の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	67	68	68	69	69	70	
実績値	67	63					

(1 1 . 日本国創成のとき)

具体的な指標：	構成資産のほとんどを占める明日香村における住民アンケート調査の「あなたは明日香村の歴史的風土は守られてきたと思いますか」に対する「そう思う」の割合						
目標値：	平成 19 年度	47 %			⇒	平成 32 年度	60 %
設定根拠：	直近の調査結果である平成19年度を基準とし、平成32年度までに毎年1%の伸び率の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	55	56	57	58	59	60	
実績値	—	—					

(1 2 . 六根清浄と六感治癒の地)

具体的な指標：	日本遺産に関連する講演会等におけるアンケート調査の「地域への愛着がある」の割合（%）						
目標値：	平成 29 年度	100 %			⇒	平成 32 年度	115 %
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で5%を加算した伸び率の達成を設定						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	—	—	100	105	110	115	
実績値	—	—					

(13. 津和野今昔)

具体的な指標：	アンケート調査等により、誇りを感じる住民の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 32 年度 130 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で10%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	110	120	130
実績値	—	—				

(14. 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市)

具体的な指標：	文化財・日本遺産講座や文化財めぐり等によるアンケート調査の「郷土に誇りを持つ人」の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 32 年度 130 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で10%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	110	120	130
実績値	—	—				

(15. 「四国遍路」)

具体的な指標：	四国遍路に誇りを感じる住民の割合（イベント等で実施するアンケート結果）					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 32 年度 115 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	105	110	115
実績値	—	—				

(16. 古代日本の「西の都」)

具体的な指標：	市民意識調査の「市の歴史文化遺産を誇りに思うか」に対する「そう思う」の割合					
目標値：	平成 26 年度 61.5 % ⇒ 平成 32 年度 70.0 %					
設定根拠：	平成26年度を基準とし、毎年度、平成26年度比で1.4%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	62.9	64.3	65.7	67.1	68.5	70.0
実績値	59.7	60.5				

(17. 国境の島 壱岐・対馬・五島)

具体的な指標：	県政アンケートの「地域の歴史文化に対して誇りや愛着を感じる」認定地域の住民の割合の伸び率					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 32 年度 115 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100.00	105.00	110.00	115.00
実績値	—	—				

(18. 相良700年が生んだ保守と進取の文化)

具体的な指標	住民意識調査の「人吉市内の歴史や伝統文化について興味があるか」に対する「興味がある」の割合					
目標値	平成 26 年度 49.8 % ⇒ 平成 32 年度 60 %					
設定根拠	平成26年度を基準とし、毎年度、1.7%の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	51.5	53.2	54.9	56.6	58.7	60.0
実績値	49.8	49.8				

(19. 政宗が育んだ“伊達”な文化)

具体的な指標	児童に対するアンケート調査の「児童が地域の歴史や文化を誇りに思う」の割合					
目標値	平成 28 年度 43 % ⇒ 平成 33 年度 100 %					
設定根拠	平成28年度を基準とし、平成33年度までに100%の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	43	60	70	80	90	100
実績値	43					

(20. 自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』)

具体的な指標	地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒の割合（小学校6年生）					
目標値	平成 26 年度 86.3 % ⇒ 平成 33 年度 90.0 %					
設定根拠	第6次山形県教育振興計画等において平成32年度の目標値を90%としており、その目標に向けて、毎年度、概ね0.6ポイント増の達成とし、その後は、維持することを設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	87.5	88.1	88.7	89.3	90.0	90.0
実績値	84.9					
具体的な指標	地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒の割合（中学校3年生）					
目標値	平成 26 年度 59.0 % ⇒ 平成 33 年度 70.0 %					
設定根拠	第6次山形県教育振興計画等において平成32年度の目標値を70%としており、その目標に向けて、毎年度、概ね1.8ポイント増の達成とし、その後は、維持することを設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	62.6	64.4	66.2	68.1	70.0	70.0
実績値	59.5					

(21. 会津の三十三観音めぐり)

具体的な指標	講習会等参加者における地域住民へのアンケート結果の「地域の文化に愛着を感じる」の割合					
目標値	平成 27 年度 — ⇒ 平成 33 年度 70 %					
設定根拠	平成30年度までに50%を達成し、その後、毎年度5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	50	55	60	65	70
実績値	—					

(22. 未来を拓いた「一本の水路」)

具体的な指標:	地域に愛着を持ち、住み続けたいと思う住民の割合					
目標値:	平成 28 年度 52 % ⇒ 平成 33 年度 57 %					
設定根拠:	平成28年度実績値を基準とし、毎年度、平成28年度比で約1%を加算した伸び幅の達成を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	52	53	54	55	56	57
実績値	52					

(23. 「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」)

具体的な指標:	千葉県世論調査の中で千葉県の魅力として「歴史的なまち並み・史跡・旧跡」を挙げた方の割合					
目標値:	平成 28 年度 13.4 % ⇒ 平成 33 年度 26 %					
設定根拠:	平成26から28年度で大きな変化はなく、将来的な予想ができない。県下へのアピールも含め2倍程度を目指す。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	13.4	15.9	16.4	20.9	23.4	26.0
実績値	13					

(24. 江戸庶民の信仰と行楽の地)

具体的な指標:	地域の文化に誇りを感じる市立小・中学生の割合					
目標値:	平成 27 年度 1 % ⇒ 平成 33 年度 50 %					
設定根拠:	平成33年度までに50%の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	9	17	25	37	42	50
実績値	集計中					

(25. 「いざ、鎌倉」)

具体的な指標:	市民意識調査「鎌倉に住み続けたいかどうか」(市民の市への愛着度)の回答率					
目標値:	平成 27 年度 83.1 % ⇒ 平成 33 年度 85 %					
設定根拠:	平成27年度を基準とし、平成33年度までに85%の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	83.4	83.7	84.0	84.4	84.7	85.0
実績値	86.5					

(26. 「なんだ、コレは！」 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化)

具体的な指標:	地域住民の文化財に対するアンケート調査結果					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 33 年度 125 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、対前年度比6%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	-	100	106	112	118	125
実績値	-	100				

(27. 『珠玉と歩む物語』小松)

具体的な指標:	アンケート調査により石の文化に誇りを感じると回答した住民の割合					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 33 年度 120 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	100	105	110	115	120
実績値	—					

(28. 木曽路はすべて山の中)

具体的な指標:	アンケート調査の「地域に誇りを持てる」の割合					
目標値:	平成 27 年度 10 % ⇒ 平成 33 年度 70 %					
設定根拠:	平成27年度を基準とし、毎年度、10%の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	20	30	40	50	60	70
実績値	10					

(29. 飛騨匠の技・こころ)

具体的な指標:	「文化財や伝統芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合					
目標値:	平成 27 年度 73.0 % ⇒ 平成 33 年度 76.0 %					
設定根拠:	年間約0.5%増					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	73.5	74.0	74.5	75.0	75.5	76.0
実績値	73.6					

(30. 『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」)

具体的な指標:	アンケート調査の「地域の歴史文化に対する誇りや愛着を感じる」の割合					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 33 年度 120 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	100	105	110	115	120
実績値	—					

(31. 森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ)

具体的な指標:	協議会主催事業におけるアンケート調査の「地域の文化に誇りを感じる」の割合					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 33 年度 140 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で10%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	100	110	120	130	140
実績値	—					

(32. 鯨とともに生きる)

具体的な指標:	アンケート調査の「地域の文化に誇りを感じる」と回答した住民の割合					
目標値:	平成 29 年度 100 ⇒ 平成 33 年度 140 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で10%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	-	100	110	120	130	140
実績値	-					

(33. 地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市)

具体的な指標:	日本遺産に関する地域住民アンケートでの割合					
具体的な指標:	地域住民アンケート調査の「地域の文化に誇りを感じる」の割合					
目標値:	平成 27 年度 0 % ⇒ 平成 33 年度 80 %					
設定根拠:	平成33年度までに、世界青年意識調査の「日本人であることに誇りを持っている人の割合」と同程度の80%の達成を設定。(平成30年度までに50%を達成し、その後、毎年度、10%の増加数の達成を設定。)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	-	-	50	60	70	80
実績値	-					

(34. 出雲國たたら風土記)

具体的な指標:	講演会等におけるアンケート調査の「たたら風土記に愛着がある」の割合					
目標値:	平成 27 年度 0 % ⇒ 平成 33 年度 60 %					
設定根拠:	平成29年度までに60%を達成し、その後は、維持することを設定。 (60%は「愛着を持つ」が「愛着を持たない」を上回る数値として設定。)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	-	60	60	60	60	60
実績値	-					

(35. 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴)

具体的な指標:	横須賀市における市民アンケート調査の「定住したいと思う人」の割合					
目標値:	平成 27 年度 82.0 % ⇒ 平成 33 年度 83.8 %					
設定根拠:	平成27年度～平成28年度の伸び率が0.3%に基づき、平成27年度を基準として毎年度0.3%の伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	82.3	82.6	82.9	83.2	83.5	83.8
実績値	82.3					
具体的な指標:	呉市に愛着を感じている市民の割合(呉市)					
目標値:	平成 26 年度 69.7 % ⇒ 平成 33 年度 81.0 %					
設定根拠:	第4次呉市長期総合計画(後期基本計画)で平成32年度の目標値(80%)を示しており、認定効果を加味し、1%を加算した伸び率の達成を設定。(5年に1度の調査)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	69.7	69.7	69.7	81.0	81.0	81.0
実績値	-	-	-		-	-

具体的な指標：	佐世保市まちづくり市民意識アンケート調査の「住んでいるまちの歴史や伝統文化（文化財や伝統行事など）についてある程度以上知っている」の割合					
目標値：	平成 27 年度 40.7% ⇒ 平成 33 年度 50.0%					
設定根拠：	平成33年度までに50%の達成を設定。（2年に1度の調査） ※日本遺産認定後のPR効果を勘案し、増加率は、後半の伸びを大きく設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	42.25	42.25	45.35	45.35	50.00	50.00
実績値	41	—		—		—
具体的な指標：	舞鶴市総合計画の市民アンケート調査における市の「歴史的な魅力」に対する満足度					
目標値：	平成 27 年度 50.4 % ⇒ 平成 33 年度 60 %					
設定根拠：	平成33年度までに、60%の達成を設定。毎年度1.6%増加を想定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	52.0	53.6	55.2	56.8	58.4	60.0
実績値	—					

（36. “日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島）

具体的な指標：	アンケート調査による村上海賊をはじめとした郷土・歴史・文化を誇りに思う住民の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 33 年度 130 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で7.5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	100	107	115	122	130
実績値	—					

（37. 日本磁器のふるさと 肥前）

具体的な指標：	肥前窯業圏内におけるアンケート調査の「郷土の文化・歴史・風土などに愛着や誇りを持っている」の割合。					
目標値：	平成 27 年度 37.5 % ⇒ 平成 33 年度 65 %					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率2.4%に対し、平成27年度を基準に、平成28年度は同程度の伸び率を、その後は毎年度5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	40	45	50	55	60	65
実績値	40					

（38. 江差の五月は江戸にもない）

具体的な指標：	地域文化に関する住民意識調査による「地域文化に誇りを感じる」の割合					
目標値：	平成 28 年度 10 % ⇒ 平成 34 年度 22 %					
設定根拠：	平成22年度に実施した現総合計画策定時のアンケートで「まちづくりに特に重要な項目」で「文化財や史跡の伝承保存」と回答した値8%を参考に、平成28年度時点で「誇りを感じる≒10%」と仮定し、毎年2%の伸びを設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	12	14	16	18	20	22
実績値						

(39. 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間)

具体的な指標	各市町における住民意識（「まちに住み続けたい」と感じる住民割合）の動向					
目標値	平成 29 年度 0 % ⇒ 平成 34 年度 80 %					
設定根拠	平成31年度までに50%達成し、その後毎年度平均伸び率10%設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	—	50	60	70	80
実績値						

(40. サムライゆかりのシルク)

具体的な指標	鶴岡市住民意向調査の「地域の文化に愛着を感じる」割合					
目標値	平成 27 年度 30 % ⇒ 平成 34 年度 60 %					
設定根拠	鶴岡市住民意向調査（平成27年7月実施）における文化等が豊かな地域と感じる人の割合を、計画期間終了後の34年度に倍増させる。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	35	40	45	50	55	60
実績値						

(41. 和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田)

具体的な指標	市民意識調査の「足袋の文化」や「足袋蔵」に魅力や誇りを感じる割合の上昇率					
目標値	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 140 %					
設定根拠	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で8%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	108	116	124	132	140
実績値						

(42. 忍びの里 伊賀・甲賀)

具体的な指標	地元の歴史文化に誇りを感じるようになった市民の割合					
目標値	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 150 %					
設定根拠	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で10%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	110	120	130	140	150
実績値						

(43. 300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊)

具体的な指標	住んでいる地域で、地域の文化・芸術活動が活発に行われていると思う人の割合（丹後地域（宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町））					
目標値	平成 28 年度 52 % ⇒ 平成 34 年度 58 %					
設定根拠	平成28年度を基準とし、毎年度1%向上を図る。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	53	54	55	56	57	58
実績値						

(44. 1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」)

具体的な指標:	住民意識調査の「地域の文化に愛着を感じる」割合					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 130 %					
設定根拠:	平成29年度に行うアンケート調査結果より30%の増加を目指す					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	—	—	—	—	130
実績値						

(45. 播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道)

具体的な指標:	住んでいる市・町には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合					
目標値:	平成 28 年度 66.4 % ⇒ 平成 34 年度 74.2 %					
設定根拠:	平成19年度～平成28年度の平均伸び率1.0%に対し、毎年度、平成28年度比で1.3%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	67.7	69.0	70.3	71.6	72.9	74.2
実績値						

(46. 絶景の宝庫)

具体的な指標:	市政調査『観光地としての魅力(市民の郷土(文化財等)への愛着)』の割合					
目標値:	平成 28 年度 15 % ⇒ 平成 34 年度 18 %					
設定根拠:	平成28年度を基準として、毎年0.5%増加を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	15.5	16.0	16.5	17.0	17.5	18.0
実績値						

(47. 「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地)

具体的な指標:	アンケート調査における「地域の文化に愛着を感じる」の割合					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 150 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年0.1倍の上昇を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	110	120	130	140	150
実績値						

(48. 日が沈む聖地出雲)

具体的な指標:	住民意識調査の「歴史資源や文化財の保護、活用について満足している」割合					
目標値:	平成 28 年度 44 % ⇒ 平成 34 年度 50 %					
設定根拠:	平成28年度調査に対し、前回調査(H24:49%)を超える50%とする。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	45	46	47	48	49	50
実績値						

(49. 一輪の綿花から始まる倉敷物語)

具体的な指標:	倉敷市第六次総合計画「まちづくり指標」市民アンケート調査の「後世に伝えたいと思うくらしき文化が大切に継承されている」と思っている人の割合					
目標値:	平成 28 年度 66.9 % ⇒ 平成 34 年度 73.0 %					
設定根拠:	倉敷市第六次総合計画で平成32年度の目標値(73.0%)を示しており、その後は、維持することを設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	68.4	70.0	71.5	73.0	73.0	73.0
実績値						
具体的な指標:	倉敷市第六次総合計画「まちづくり指標」市民アンケート調査の「倉敷の魅力人を紹介・説明ができる」と思っている人の割合					
目標値:	平成 28 年度 41.6 % ⇒ 平成 34 年度 50.0 %					
設定根拠:	倉敷市第六次総合計画で平成32年度の目標値(50.0%)を示しており、毎年度、2.09%の増加数を見込んで設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	43.7	45.8	47.9	50.0	52.1	54.2
実績値						

(50. きつと恋する六古窯)

具体的な指標:	伝統産業の振興に関する町民意識調査の「地域の文化に誇りを感じる」に対する「満足」の割合(越前町)					
目標値:	平成 27 年度 37 % ⇒ 平成 34 年度 67 %					
設定根拠:	平成27年度を基準とし、平成29年度以降、毎年度、5%の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	42	47	52	57	62	67
実績値						
具体的な指標:	市民アンケート動向(瀬戸の自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を、他のまちの人におすすめできると思う市民の割合)(瀬戸市)					
目標値:	平成 28 年度 53 % ⇒ 平成 34 年度 66 %					
設定根拠:	市民の3分の2を目標設定(アンケート調査は3年ごとに実施)					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	53	53	59	59	59	66
実績値						
具体的な指標:	市民意識調査の「地場産業の常滑焼に愛着を感じる」の割合(常滑市)					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 125 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度5%の上昇を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	105	110	115	120	125
実績値						

具体的な指標：	「甲賀市市政に関する意識調査」における「甲賀市の魅力を自慢できる」の割合（甲賀市）					
目標値：	平成 29 年度 今後調査 % ⇒ 平成 34 年度 70 %					
設定根拠：	平成29年度までに50%を達成し、その後、毎年度、8%の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	50	54	58	62	66	70
実績値						
具体的な指標：	「兵庫のゆたかさ指数」の動向（住んでいる地域に愛着や誇りを感じる住民の割合：丹波地域（篠山市））					
目標値：	平成 27 年度 67.00 % ⇒ 平成 34 年度 70.50 %					
設定根拠：	平成27年度を基準とし、平成34年度までに70.5%、毎年度0.5%の増の達成を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	68.00	68.50	69.00	69.50	70.00	70.50
実績値						
具体的な指標：	住民意識調査の「歴史文化の活用と伝統文化の継承」の満足度（0～5段階）の割合（備前市）					
目標値：	平成 27 年度 2.70 満足度 ⇒ 平成 34 年度 3.00 満足度					
設定根拠：	平成27年度の満足度2.70に対し、1.1倍の3.00を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	2.75	2.80	2.85	2.90	2.95	3.00
実績値						

（51．森林鉄道から日本一のゆずロードへ）

具体的な指標：	住民意識調査の「地域の文化に愛着を感じる」割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 110 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で2%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	102	104	106	108	110
実績値						

（52．関門“ノスタルジック”海峡）

具体的な指標：	アンケート調査による「地域の文化に愛着を感じる」の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 115 %					
設定根拠：	平成29年度に初回調査を実施し、平成29年度数値を100%として、毎年3%の上昇を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	103	106	109	112	115
実績値						

(53. 米作り、二千年にわたる大地の記憶)

具体的な指標：	4市町の住民意識調査での「地域の文化に愛着を感じる」の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 200 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、対前年度比15%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	115	130	150	175	200
実績値						

(54. やばけい遊覧)

具体的な指標：	市民アンケート調査の「地域の文化に誇りを感じる住民」の割合					
目標値：	平成 28 年度 40 % ⇒ 平成 34 年度 50 %					
設定根拠：	平成28年度の市民アンケートの結果を基準とし、毎年2%の増加を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	40	42	44	46	48	50
実績値						

認定地域指標一覧

②日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化

その他

(10. 丹波篠山 デカンショ節)

具体的な指標：	全児童のうち「市長の学校訪問」で日本遺産に関する授業を受けた児童の割合					
目標値：	平成 27 年度 17 % ⇒ 平成 32 年度 100 %					
設定根拠：	市内の小・中学校，特別支援学校（20校）を6年間で全校・全学年訪問し，平成32年度には市内の全児童が日本遺産の授業を受けることを想定した数値。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	17	33	50	67	83	100
実績値	17	35				

(12. 六根清浄と六感治癒の地)

具体的な指標：	住民主体で実施する事業の参加者数					
目標値：	平成 26 年度 4,300 人 ⇒ 平成 32 年度 7,900 人					
設定根拠：	平成26年度を基準とし，毎年度，600人の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	4,900	5,500	6,100	6,700	7,300	7,900
実績値	4,450	4,710				
具体的な指標：	地域の行事に参加する児童・生徒の割合					
目標値：	平成 26 年度 83 % ⇒ 平成 32 年度 100 %					
設定根拠：	三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略により，平成31年度までに全児童・生徒が参加することを設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	86	90	93	97	100	100
実績値	79	74				
具体的な指標：	ふるさとを学ぶ機会の提供回数					
目標値：	平成 26 年度 18 回 ⇒ 平成 32 年度 30 回					
設定根拠：	三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略により，平成31年度までに30回と設定しており，その後回数を維持する。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	20	23	25	28	30	30
実績値	57	58				

(13. 津和野今昔)

具体的な指標:	総合学習や遠足などで日本遺産センターを訪問する件数					
目標値:	平成 28 年度 9 件 ⇒ 平成 32 年度 25 回					
設定根拠:	平成28年度を基準とし、毎年度、4件の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	9	13	17	21	25
実績値	—	9				

(14. 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市)

具体的な指標:	各学校での日本遺産の総合学習等への取り組みによる、日本遺産認知度					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 32 年度 130 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で10%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	100	110	120	130
実績値	—	—				

(16. 古代日本の「西の都」)

具体的な指標:	小中学校における日本遺産ストーリーに関する年間の出前授業等の回数					
目標値:	平成 26 年度 0 件 ⇒ 平成 32 年度 15 件					
設定根拠:	平成32年度までに、市内の小中学校11校（各1学年）に年1回出前授業を行うことを目標として設定。その他周辺、関係市町村の学校からの要請にも応える。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	2	5	7	10	12	15
実績値	0	5				

(22. 未来を拓いた「一本の水路」)

具体的な指標:	日本遺産の知名度及び認定ストーリーの認知度					
目標値:	平成 28 年度 49 % ⇒ 平成 33 年度 80 %					
設定根拠:	平成28年度実績値を基準とし、毎年度、平成28年度比で約6%を加算した伸び率の達成を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	49	56	62	68	74	80
実績値	49					
具体的な指標:	事業者等による日本遺産の魅力を発信するイベントの開催数					
目標値:	平成 28 年度 3 件 ⇒ 平成 33 年度 15 件					
設定根拠:	認定初年度である平成28年度実績値を基準とし、毎年度、概ね2~3件の増加を想定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	3	5	8	10	13	15
実績値	3					

(24. 江戸庶民の信仰と行楽の地)

具体的な指標：	市立小・中学生における日本遺産の認知度					
目標値：	平成 28 年度 1 % ⇒ 平成 33 年度 100 %					
設定根拠：	平成29年度までに100%を達成し、その後、維持することを設定。(平成28年度の目標値は認定直後の実績)					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	1	100	100	100	100	100
実績値	集計中					
具体的な指標：	日本遺産を生かした市民や地域の事業所による自主的な取組件数					
目標値：	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 20 件					
設定根拠：	平成29年度までに4件の取組を行い、その後、毎年度、4件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	4	8	12	16	20
実績値	0					

(30. 『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」)

具体的な指標：	島内小中学生の日本遺産に対する認知度					
目標値：	平成 28 年度 35 % ⇒ 平成 33 年度 60 %					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、毎年度、5%の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	35	40	45	50	55	60
実績値	35					

(36. “日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島)

具体的な指標：	日本遺産めぐり・来場児童によるアンケート調査の村上海賊の認知度					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 33 年度 130 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で7.5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	100	107	115	122	130
実績値	—					

(37. 日本磁器のふるさと 肥前)

具体的な指標：	肥前窯業圏内の小・中学生における日本遺産認定の認知度					
目標値：	平成 28 年度 50 % ⇒ 平成 33 年度 65 %					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、毎年度、3%の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	50	53	56	59	62	65
実績値	50					

具体的な指標：	佐賀・長崎県内における日本遺産認定の認知度					
目標値：	平成 28 年度 55 % ⇒ 平成 33 年度 65 %					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、毎年度、2%の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	55	57	59	61	63	65
実績値	55					

(38. 江差の五月は江戸にもない)

具体的な指標：	小学4年生から中学3年生までの児童・生徒の「日本遺産」の認知度					
目標値：	平成 28 年度 - % ⇒ 平成 34 年度 75 %					
設定根拠：	平成29年度までに50%を達成し、その後、毎年度、5%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	50	55	60	65	70	75
実績値						

(44. 1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」)

具体的な指標：	地域の小・中学生の日本遺産の認知度の割合					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 300 %					
設定根拠：	平成29年度に行うアンケート調査結果より3倍の増加を目指す					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	—	—	—	—	300
実績値						

(50. きっと恋する六古窯)

具体的な指標：	日本遺産を活用したイベント等実施回数（越前町）					
目標値：	平成 29 年度 1 回 ⇒ 平成 34 年度 6 回					
設定根拠：	実施回数について毎年1回の増加を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	1	2	3	4	5	6
実績値						
具体的な指標：	市内・県内の小学生の陶の郷への入園者数（篠山市）					
目標値：	平成 27 年度 13,820 人 ⇒ 平成 34 年度 16,000 人					
設定根拠：	平成26年度～平成27年度の伸び率△6.5%に対し、平成27年度を基準とし、平成34年度までに約15%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	14,440	14,750	15,070	15,380	15,690	16,000
実績値						

(53. 米作り, 二千年にわたる大地の記憶)

具体的な指標:	4市町の小・中生意識調査での「日本遺産（二千年の米づくり）を知っている」の割合					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 200 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし, 毎年度, 対前年度比15%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	115	130	150	175	200
実績値						

認定地域指標一覧

③日本遺産の関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立

(1. 近世日本の教育遺産群)

具体的な指標：	日本遺産での観光振興に携わる民間団体数					
目標値：	平成 27 年度 0 団体 ⇒ 平成 32 年度 4 団体					
設定根拠：	平成32年度まで各市で1団体以上の協力を得ることを設定					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	1	2	3	4
実績値	0	0				
具体的な指標：	日本遺産関連で開発された商品やサービス数					
目標値：	平成 26 年度 0 件 ⇒ 平成 32 年度 6 件					
設定根拠：	認定後、1年あたり1件ずつ増加することを目標値と設定					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	1	2	3	4	5	6
実績値	3	3				

(2. かかあ天下)

具体的な指標：	県民・ボランティア団体（世界遺産・日本遺産等の普及・解説を目的とした団体）との協働活動回数（年間）					
目標値：	平成 27 年度 33 回 ⇒ 平成 32 年度 80 回					
設定根拠：	平成27年度を基準とし、毎年度、10回の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	33	40	50	60	70	80
実績値	33	40				

(3. 加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡)

具体的な指標：	日本遺産関連で開発された商品・サービス数					
目標値：	平成 26 年 0 件 ⇒ 平成 32 年 10 件					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、毎年度、維持することを設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	10	10	10	10	10
実績値	7	10				

(4. 灯 (あか) り舞う半島 能登)

具体的な指標：	キリコ祭りに係る旅行商品の数						
目標値：	平成 26 年度		0 件	⇒	平成 32 年度		29 件
設定根拠：	各市町の主な祭礼(29祭礼)につき1件						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	4	9	14	19	24	29	
実績値	4	14					
具体的な指標：	能登地区の農家民宿の数						
目標値：	平成 27 年度		58 件	⇒	平成 32 年度		64 件
設定根拠：	県の観光誘客目標で平成27年～平成37年の10年間で20%の伸び率を示しており、毎年度、平成27年度比で2%を加算した伸び率の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	58	59	60	61	63	64	
実績値	58	63					

(5. 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群)

具体的な指標：	日本遺産の魅力発信のための事業を実施した団体数						
目標値：	平成 27 年度		5 団体	⇒	平成 32 年度		10 団体
設定根拠：	平成27年度を基準とし、毎年度、1団体の増加数の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	5	6	7	8	9	10	
実績値	5	6					

(6. 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜)

具体的な指標：	地元事業者による織田信長公に関連する観光土産品の開発						
目標値：	平成 29 年度		20 点	⇒	平成 32 年度		26 点
設定根拠：	平成29年度までに20点の観光土産品の開発を行い、毎年、平成29年度比で10%を加算した伸び率の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	—	—	20	22	24	26	
実績値	0	0					

(7. 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮)

具体的な指標：	商品開発数						
目標値：	平成 26 年度		0 件	⇒	平成 32 年度		10 件
設定根拠：	平成29年度までに2件の商品開発を行い、その後、毎年度、2件以上の増加数の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	—	—	2	5	8	10	
実績値	0	0					

(8 . 琵琶湖とその水辺景観)

具体的な指標 :	日本遺産関連旅行商品					
目標値 :	平成 26 年度		0 件	⇒	平成 32 年度 92 件	
設定根拠 :	毎年, 15件~16件の日本遺産関連旅行商品を開発する。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	15	31	46	61	77	92
実績値	15	27				

(9 . 日本茶800年の歴史散歩)

具体的な指標 :	日本遺産に関連して実施される事業数					
目標値 :	平成 27 年度		13 事業	⇒	平成 32 年度 16 事業	
設定根拠 :	平成27年度に13事業を行い, その後, 2年ごとに1事業の増加を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	13	14	14	15	15	16
実績値	13	6				

(1 0 . 丹波篠山 デカンショ節)

具体的な指標 :	使い道が「日本遺産のまち魅力発信に関する事業」として寄付いただいたふるさと納税額					
目標値 :	平成 27~28 年度		11,000,000 円	⇒	平成 32 年度 22,000,000 円	
設定根拠 :	平成27年度~平成28年度の日本遺産へのふるさと納税額の平均額を基準に, 平成32年度までに, 100%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	11,000,000	11,000,000	13,750,000	16,500,000	19,250,000	22,000,000
実績値	14,595,000	7,454,001				
具体的な指標 :	篠山市の補助金を活用して日本遺産魅力発信推進事業を実施する団体数					
目標値 :	平成 28 年度		10 団体	⇒	平成 32 年度 30 団体	
設定根拠 :	平成28年度に創設する「アイデア実現補助金」について, 毎年度10団体の活用を, 平成29年度に創設する「地域遺産の発掘補助金」について, 毎年度20団体の活用を想定し設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	10	30	30	30	30
実績値	—	17				

(1 1 . 日本国創成のとき)

具体的な指標 :	育成したマネージャーによる観光企画や旅行企画への関与数					
目標値 :	平成 29 年度		1 件	⇒	平成 32 年度 4 件	
設定根拠 :	平成29年度までに具体的な企画まで関与し, その後も年間1件程度の企画に関与					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	1	2	3	4
実績値	0	0				

(12. 六根清浄と六感治癒の地)

具体的な指標：	日本遺産三徳山三朝温泉を守る会会員数						
目標値：	平成 27 年度		330	⇒	平成 32 年度		500人
設定根拠：	平成27年度に330人の会員数の獲得を行い、その後、毎年度、34人の増加数の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	330	364	398	432	466	500	
実績値	334	378					

(13. 津和野今昔)

具体的な指標：	地元事業者による日本遺産関連商品作成数						
目標値：	平成 28 年度		6 件	⇒	平成 32 年度		16 件
設定根拠：	平成29年度までに10件の商品開発を行い、その後、毎年度、2件の増加数の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	—	—	10	12	14	16	
実績値	3	6					
具体的な指標：	日本遺産応援団（H28年度新設）への加入団体、個人数						
目標値：	平成 28 年度		10 件	⇒	平成 32 年度		50 件
設定根拠：	平成28年度を基準とし、毎年度、10件の増加数の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	—	10	20	30	40	50	
実績値	—	10					

(14. 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市)

具体的な指標：	日本遺産尾道に関する商品・サービス数						
目標値：	平成 27 年度		11 件	⇒	平成 32 年度		40 件
設定根拠：	平成27年度を基準に、約4倍を設定。民間を決める根拠としては、旅行者、パートナー登録者等、今後協議会に協力、誘客につながる事が想定される企業、団体等を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	11	16	22	28	34	40	
実績値	11	17					

(15. 「四国遍路」)

具体的な指標：	「日本遺産」を冠した、四国遍路がテーマの旅行商品を企画する事業者数						
目標値：	平成 26 年度		0 社	⇒	平成 32 年度		5 社
設定根拠：	平成28年度までに1社が旅行商品の企画を行い、その後、毎年度、1社の増加数の達成を設定。						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標値	—	1	2	3	4	5	
実績値	0	1					

(16. 古代日本の「西の都」)

具体的な指標:	太宰府市日本遺産活性化協議会の加盟団体数					
目標値:	平成 27 年度 3 団体 ⇒ 平成 32 年度 10 団体					
設定根拠:	平成27年度を基準に、平成32年度までに10団体の参入の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	3	4	5	6	8	10
実績値	3	5				

(17. 国境の島 壱岐・対馬・五島)

具体的な指標:	日本遺産の認定ストーリーや構成文化財を活用した旅行商品の案出件数					
目標値:	平成 28 年度 17 件 ⇒ 平成 32 年度 21 件					
設定根拠:	平成28年度を基準とし、その後は毎年度、1件の増加数の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	17	18	19	20	21
実績値	9	17				

(18. 相良700年が生んだ保守と進取の文化)

具体的な指標:	着地型プログラム利用者数					
目標値:	平成 29 年度 300 人 ⇒ 平成 32 年度 1,200 人					
設定根拠:	5人グループ×月2回利用×12月×10プログラム					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	—	—	300	600	900	1,200
実績値	—	—				

(19. 政宗が育んだ“伊達”な文化)

具体的な指標:	協議会等（実行委員会）構成団体または連携協力事業者（団体）数					
目標値:	平成 28 年度 17 団体 ⇒ 平成 33 年度 42 団体					
設定根拠:	平成28年度を基準とし、毎年度、5団体の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	17	22	27	32	37	42
実績値	17					

(20. 自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』)

具体的な指標:	日本遺産のPR協力事業者数					
目標値:	平成 29 年度 20 ⇒ 平成 33 年度 100 団体					
設定根拠:	平成29年度までに20団体の協力を目標とし、その後、毎年度、20団体の協力の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	20	40	60	80	100
実績値	0					

(21. 会津の三十三観音めぐり)

具体的な指標：	日本遺産を記載した物産品及び旅行商品数					
目標値：	平成 27 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 12 件					
設定根拠：	毎年2件程度の増加を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2	4	6	8	10	12
実績値	2					

(22. 未来を拓いた「一本の水路」)

具体的な指標：	日本遺産の活動による寄附及び広告料収入の上昇率					
目標値：	平成 28 年度 100 % ⇒ 平成 33 年度 500 %					
設定根拠：	認定初年度である平成28年度実績値 (129,600円) を基準とし、毎年80%の上昇を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	100	180	260	340	420	500
実績値	100					
具体的な指標：	販売書籍等の制作件数					
目標値：	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 3 件					
設定根拠：	認定初年度である平成28年度実績値を基準とし、概ね2カ年に1度の割合で制作					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	0	1	1	2	2	3
実績値	0					

(23. 「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」)

具体的な指標：	外部団体からの賛助金件数					
目標値：	平成 28 年度 2 ⇒ 平成 33 年度 6 件					
設定根拠：	4市に1件以上の協力団体を獲得してゆく。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2	3	4	5	5	6
実績値	2					
具体的な指標：	日本遺産協議会への参加民間団体数					
目標値：	平成 28 年度 1 ⇒ 平成 33 年度 10 件					
設定根拠：	平成29年度までは1団体、その後、毎年度、2団体の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	1	2	4	6	8	10
実績値	1					

(24. 江戸庶民の信仰と行楽の地)

具体的な指標：	日本遺産基金の創設(ふるさと納税制度の活用)による調達資金額					
目標値：	平成 28 年度 0 千円 ⇒ 平成 33 年度 10,000 千円					
設定根拠：	平成30年度までに基金を創設し、平成33年度までに10,000千円の積立の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	—	—	2,000	5,000	10,000
実績値	—					
具体的な指標：	地元業者による日本遺産関連商品作成数					
目標値：	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 13 件					
設定根拠：	補助金がある平成30年度までに10件の商品開発を行い、その後、毎年10%の増加を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	—	10	11	12	13
実績値	0					

(25. 「いざ、鎌倉」)

具体的な指標：	民間事業者等が鎌倉の日本遺産を活用した件数					
目標値：	平成 28 年度 6 件 ⇒ 平成 33 年度 11 件					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、毎年度、1件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	6	7	8	9	10	11
実績値	6					

(26. 「なんだ、コレは！」 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化)

具体的な指標：	関係団体との協力数					
目標値：	平成 28 年度 0 団体 ⇒ 平成 33 年度 4 団体					
設定根拠：	関係団体と連携した事業数の累計で、28～31年まで隔年で1団体増、32年・33年は毎年1団体増とした。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	1	1	2	3	4
実績値	0					

(27. 『珠玉と歩む物語』小松)

具体的な指標：	石の文化関連商品を新たに開発					
目標値：	平成 27 年度 0 種 ⇒ 平成 33 年度 30 種					
設定根拠：	1年5品の新商品を開発を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	5	10	15	20	25	30
実績値	5					

(28. 木曽路はすべて山の中)

具体的な指標:	域内市町村の体験プログラム数					
目標値:	平成 28 年度 2 件 ⇒ 平成 33 年度 12 件					
設定根拠:	平成28年度を基準とし、毎年度、2件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2	4	6	8	10	12
実績値	2					

(29. 飛騨匠の技・こころ)

具体的な指標:	協議会の自立化における協議会事業費の民間事業費割合					
目標値:	平成 31 年度 55.0 % ⇒ 平成 33 年度 85.0 %					
設定根拠:	平成31年度までに協議会事業費の55%を民間事業費で賄い、その後、毎年度、15%の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	—	—	55.0	70.0	85.0
実績値	0.1					

(30. 『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」)

具体的な指標:	地元事業者による商品開発数					
目標値:	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 10 件					
設定根拠:	平成29年度までに2件の開発を行い、その後、毎年度、2件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	2	4	6	8	10
実績値	0					
具体的な指標:	日本遺産関連の事業を計画してくれる地元事業者数					
目標値:	平成 28 年度 5 社 ⇒ 平成 33 年度 30 社					
設定根拠:	毎年5社の増加を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	5	10	15	20	25	30
実績値	5					

(31. 森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ)

具体的な指標:	有償ガイドによるコース開設数					
目標値:	平成 27 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 20 件					
設定根拠:	平成30年度までに5件の有料ガイドコースの開設を行い、その後、毎年度、5件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	—	5	10	15	20
実績値	0					

(32. 鯨とともに生きる)

具体的な指標：	日本遺産に関する旅行商品数					
目標値：	平成 28 年度 - ⇒ 平成 33 年度 20 商品					
設定根拠：	平成30年度までに5商品の販売を行い、その後、毎年度、5商品の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	-	-	5	10	15	20
実績値	0					

(33. 地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市)

具体的な指標：	日本遺産の魅力を高めるための活動に関するふるさと応援寄付金額（大山町）					
目標値：	平成 27 年度 0 千円 ⇒ 平成 33 年度 21,042 千円					
設定根拠：	平成27年度の大山町へのふるさと納税額175,358千円を基準とし、毎年度、平成27年度のふるさと納税額の2%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	3,507	7,014	10,521	14,028	17,535	21,042
実績値	0					

(34. 出雲國たたら風土記)

具体的な指標：	「出雲國たたら風土記」シンボルマークを付けた商品・サービスの数					
目標値：	平成 27 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 30 件					
設定根拠：	各市町10件ずつの商品・サービス数を目標設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	5	10	15	20	25	30
実績値	4					
具体的な指標：	日本遺産活用プロジェクトへの参画団体					
目標値：	平成 27 年度 0 団体 ⇒ 平成 33 年度 15 団体					
設定根拠：	「出雲國たたら風土記」シンボルマークをつけた商品等を加工・製造・販売している団体数を把握。前年比2~3団体の増加を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2	5	7	10	12	15
実績値	3					

(35. 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴)

具体的な指標：	協議会の自立化における協議会事業費の民間事業費割合					
目標値：	平成 27 年度 0 % ⇒ 平成 33 年度 20.0 %					
設定根拠：	平成33年度までに、毎年度の事業費のうち、民間事業費の割合を20%に達成することを設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	-	-	5	10	15	20
実績値	0					

(36. “日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島)

具体的な指標：	日本遺産の名称を利用した事業に取り組んでいる団体数					
目標値：	平成 28 年度 26 件 ⇒ 平成 33 年度 120 件					
設定根拠：	平成28年度を基準に、平成29年度～平成30年度は約30件、その後は毎年度10件の増加数を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	26	58	90	100	110	120
実績値	26					

(37. 日本磁器のふるさと 肥前)

具体的な指標：	日本遺産の認定ストーリーや構成文化財を活用した新規事業の創出件数					
目標値：	平成 27 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 5 件					
設定根拠：	平成29年度までに1件の新規事業の創出を行い、その後、毎年度、1件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	1	2	3	4	5
実績値	0					
具体的な指標：	日本遺産の認定ストーリーや構成文化財を活用した旅行商品の案出件数					
目標値：	平成 27 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 5 件					
設定根拠：	平成29年度までに1件の新規事業の創出を行い、その後、毎年度、1件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	1	2	3	4	5
実績値	0					
具体的な指標：	「事業パートナー」制度のパートナー企業数					
目標値：	平成 27 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 30 件					
設定根拠：	毎年度、5件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	5	10	15	20	25	30
実績値	6					

(38. 江差の五月は江戸にもない)

具体的な指標：	江差観光まちづくり推進協議会運営の異業種間連携による地域特産物（新規土産物）の開発					
目標値：	平成 28 年度 - 件 ⇒ 平成 34 年度 15 件					
設定根拠：	平成30年度までに3品の開発を行い、その後、毎年度、3件の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	3	6	9	12	15
実績値						

具体的な指標	ふるさと納税額					
目標値	平成 28 年度 50 百万円 ⇒ 平成 34 年度 88 百万円					
設定根拠	平成28年度を基準に、対前年度比で10%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	55	60	66	73	80	88
実績値						
具体的な指標	江差観光まちづくり推進協議会運営資金					
目標値	平成 28 年度 0 千円 ⇒ 平成 34 年度 5,000 千円					
設定根拠	ふるさと納税額から経費（7割と想定）を差し引いた額の2割（上限500万円）を平成32年度から運営資金化。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	—	—	4,380	4,800	5,000
実績値						

(39. 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間)

具体的な指標	各市町における観光分野を主とした協力団体（企業等）数					
目標値	平成 28 年度 34 団体 ⇒ 平成 34 年度 100 団体					
設定根拠	平成28年度を基準とし、毎年度、11団体の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	45	56	67	78	89	100
実績値						

(40. サムライゆかりのシルク)

具体的な指標	地域関係者による日本遺産関連商品・サービス数					
目標値	平成 30 年度 5 件 ⇒ 平成 34 年度 12 件					
設定根拠	平成30年度までに5件造成し、その後は、毎年度、対前年度比で25%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	5	6	7	9	12
実績値						

(41. 和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田)

具体的な指標	ふるさと納税の日本遺産活動への寄附額の上昇率					
目標値	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 300 %					
設定根拠	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で40%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	140	180	220	260	300
実績値						

(4 2. 忍びの里 伊賀・甲賀)

具体的な指標：	日本遺産伊賀甲賀「忍者」協議会の事業に協力した団体等の数					
目標値：	平成 29 年度 10 団体 ⇒ 平成 34 年度 15 団体					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、連絡協議会など統括された団体を毎年1団体ずつ増加するよう設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	10	11	12	13	14	15
実績値						

(4 3. 300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊)

具体的な指標：	織物関係の文化・産業に関する旅行商品・体験メニュー、織物・シルク関係の商品の開発数（累計）					
目標値：	平成 28 年度 16 件 ⇒ 平成 34 年度 40 件					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、毎年度4件の開発を行う。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	20	24	28	32	36	40
実績値						

(4 4. 1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」)

具体的な指標：	日本遺産に関する取組への協力団体数					
目標値：	平成 28 年度 6 団体 ⇒ 平成 34 年度 18 団体					
設定根拠：	平成28年度の協力団体数に対して、3倍の18団体を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	8	9	10	12	15	18
実績値						

(4 5. 播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道)

具体的な指標：	「銀の馬車道」「鉱石の道」関連商品の開発数					
目標値：	平成 28 年度 150 件 ⇒ 平成 34 年度 240 件					
設定根拠：	平成28年度までに開発された「銀の馬車道」「鉱石の道」関連商品開発数を、日本遺産に認定された効果増を加算し、1年あたり15点で商品数を増加させる。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	165	180	195	210	225	240
実績値						
具体的な指標：	クラウドファンディングを活用した運用資金の確保					
目標値：	平成 30 年度 20,000 千円 ⇒ 平成 34 年度 40,000 千円					
設定根拠：	平成29年度の事業経費（40,000千円/年）を基準に、不足分をクラウドファンディングを活用して運用資金を確保する。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	20,000	30,000	40,000	40,000	40,000
実績値						

(46. 絶景の宝庫)

具体的な指標:	地元事業者等で開発された日本遺産関連商品作成数					
目標値:	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 34 年度 10 件					
設定根拠:	補助金がある平成31年までに5件の新商品・サービスの開発を行い、その後の3年間でさらに5件の開発を想定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	—	5	6	8	10
実績値						

(47. 「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地)

具体的な指標:	日本遺産の活動への寄付額の上昇率					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 125 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で5%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	105	110	115	120	125
実績値						
具体的な指標:	日本遺産を訪れる観光ツアーの催行数					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 300 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、対前年度比25%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	125	156	195	243	300
実績値						

(48. 日が沈む聖地出雲)

具体的な指標:	地元および市外業者・団体の協力団体数					
目標値:	平成 31 年度 5 団体 ⇒ 平成 34 年度 8 団体					
設定根拠:	補助金がある31年度までに5団体の協力を得る。その後毎年20%ずつの増加を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	—	5	6	7	8
実績値						

(49. 一輪の綿花から始まる倉敷物語)

具体的な指標:	「日本遺産推進事業」を用途とする、ふるさと納税額の上昇率					
目標値:	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 200 %					
設定根拠:	平成29年度を基準とし、毎年度、対前年度比15%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	115	132	152	174	200
実績値						

具体的な指標：	倉敷市日本遺産推進協議会が開発する商品数					
目標値：	平成 29 年度 0 件 ⇒ 平成 34 年度 (累計) 5 件					
設定根拠：	平成30年度までは1件、その後、毎年度、1件の商品開発の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	1	1	1	1	1
実績値						

(50. きつと恋する六古窯)

具体的な指標：	越前焼を返礼品とするふるさと納税の額（越前町）					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 200 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年20%の上昇を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	120	140	160	180	200
実績値						
具体的な指標：	日本遺産の取組に協力する団体数（越前町）					
目標値：	平成 29 年度 3 団体 ⇒ 平成 34 年度 10 団体					
設定根拠：	平成29年度に3団体、その後、平成31年度までは、毎年度、2団体、平成32年度以降は、毎年度、1団体の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	3	5	7	8	9	10
実績値						
具体的な指標：	瀬戸焼等を返礼品とする寄附（ふるさと納税）の額の上昇（瀬戸市）					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 200 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で20%を加算した伸び率の達成を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	120	140	160	180	200
実績値						
具体的な指標：	日本遺産の取組に協力する窯元数（瀬戸市）					
目標値：	平成 29 年度 55 件 ⇒ 平成 34 年度 110 件					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で20%の上昇を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	55	66	77	88	99	110
実績値						

具体的な指標：	常滑焼等を返礼品とするふるさと納税額の上昇（常滑市）					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 200 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で20%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	120	140	160	180	200
実績値						
具体的な指標：	日本遺産の取組に協力する窯元・作家等の事業者数（常滑市）					
目標値：	平成 29 年度 50 件 ⇒ 平成 34 年度 75 件					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年10%の上昇を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	50	55	60	65	70	75
実績値						
具体的な指標：	信楽町内の主要団体が日本遺産への取組に協力した件数。（甲賀市）					
目標値：	平成 29 年度 7 件 ⇒ 平成 34 年度 12 件					
設定根拠：	平成29年度に7件の取組を行い、その後、毎年度、1件の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	7	8	9	10	11	12
実績値						
具体的な指標：	丹波立杭焼の“最古の登窯”の活用事業のサポーター数（篠山市）					
目標値：	平成 28 年度 422 人 ⇒ 平成 34 年度 700 人					
設定根拠：	平成34年度までに、「最古の登窯の焼成事業」を継続して実施するのに必要な協力者700人の登録を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	468	515	561	597	654	700
実績値						
具体的な指標：	日本遺産の取組に協力する窯元関係者数（篠山市）					
目標値：	平成 29 年度 130 人 ⇒ 平成 34 年度 163 人					
設定根拠：	平成29年度に窯元（52軒）の従事者等関係者数130人による丹波焼のイベントに参加・協力を得、その後、平成29年度を基準とし、毎年度、5%の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	130	136	142	149	156	163
実績値						

具体的な指標：	備前焼を返礼品とする寄附（ふるさと納税）額の上昇（備前市）					
目標値：	平成 29 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 300 %					
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で40%を加算した伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100	140	180	220	260	300
実績値						
具体的な指標：	地元事業者による日本遺産関連商品作成数（備前市）					
目標値：	平成 31 年度 10 件 ⇒ 平成 34 年度 16 件					
設定根拠：	補助金がある31年度までに10件の商品開発を行い、その後、毎年20%の増加を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	—	10	12	14	16
実績値						
具体的な指標：	日本遺産の取組イベント等に協力する窯元の延べ事業者数（備前市）					
目標値：	平成 29 年度 163 人 ⇒ 平成 34 年度 188 人					
設定根拠：	平成29年度に窯元の延べ事業者数163人による日本遺産のイベントに協力を得、その後、平成29年度を基準とし、毎年度、3%の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	163	168	173	178	183	188
実績値						

（5 1．森林鉄道から日本一のゆずロードへ）

具体的な指標：	地域で提供される体験プログラムの数					
目標値：	平成 29 年度 5 件 ⇒ 平成 34 年度 30 件					
設定根拠：	平成29年度は5件、その後、毎年度、5件の増加数の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	5	10	15	20	25	30
実績値						

（5 2．関門“ノスタルジック”海峡）

具体的な指標：	パンフレット（広告）、ホームページ（バナー広告）、アップロードした動画にかかる広告協賛企業数					
目標値：	平成 29 年度 10 社 ⇒ 平成 34 年度 35 社					
設定根拠：	平成29年度は10社を見込み、その後1年間に5社ずつ増加と設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	10	15	20	25	30	35
実績値						

具体的な指標：	パンフレット（広告）、ホームページ（バナー広告）、アップロードした動画にかかる広告等の協賛金額					
目標値：	平成 29 年度 100,000 円 ⇒ 平成 34 年度 500,000 円					
設定根拠：	平成29年度は10社で各10,000円を見込み、その後1年間に5社ずつ増加、また広告・協賛金の単価の若干の増額を見込んだ。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	100,000	150,000	220,000	300,000	390,000	500,000
実績値						

（53. 米作り，二千年にわたる大地の記憶）

具体的な指標：	日本遺産の活動へのふるさと納税額の上昇率					
目標値：	平成 30 年度 100 % ⇒ 平成 34 年度 300 %					
設定根拠：	平成30年度を基準とし、毎年度、対前年度比32%の伸び率の達成を設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	100	132	175	230	300
実績値						

（54. やばけい遊覧）

具体的な指標：	日本遺産関連商品数（グッズ，お土産，旅行商品）					
目標値：	平成 28 年度 0 点 ⇒ 平成 34 年度 30 点					
設定根拠：	毎年5件の増加を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	5	10	15	20	25	30
実績値						

認定地域指標一覧

④その他

(2. かかあ天下)

具体的な指標：	構成文化財を所有する各市町村のガイド人数					
目標値：	平成 26 年度 116 人 ⇒ 平成 32 年度 139 人					
設定根拠：	平成26年度を基準とし、平成32年度までに20%の伸び率の達成を設定。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	120	124	127	131	135	139
実績値	117	127				

(4. 灯(あか)り舞う半島 能登)

具体的な指標：	その年に実施されたキリコ祭りの祭礼数					
目標値：	平成 26 年度 189 件 ⇒ 平成 32 年度 189 件					
設定根拠：	平成26年度に実施された数と同数					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	189	189	189	189	189	189
実績値	189	188				
具体的な指標：	キリコ担ぎあげ体験者数					
目標値：	平成 27 年度 463 人 ⇒ 平成 32 年度 463 人					
設定根拠：	平成27年度は新幹線開業により多くの体験者があったため、平成27年度を基準とし、その後は、維持することを設定(平成26年度：106人)。					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	463	463	463	463	463	463
実績値	463	338				

(18. 相良700年が生んだ保守と進取の文化)

具体的な指標：	日本遺産ロゴ、日本遺産人吉球磨のロゴの活用申請数の累計(自治体・協議会構成団体以外)					
目標値：	平成 26 年度 0 件 ⇒ 平成 32 年度 280 件					
設定根拠：	平成27年度～平成28年度は40件、平成29年度は80件、その後は毎年40件の申請の達成を設定					
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	40	80	160	200	240	280
実績値	49	82				

(19. 政宗が育んだ“伊達”な文化)

具体的な指標：	構成市町住民が在住地域の文化遺産について学び、地域の魅力としての日本遺産ストーリーを紹介できる住民ガイドの養成数					
目標値：	平成 28 年度 0 人 ⇒ 平成 33 年度 130 人					
設定根拠：	平成29年度までに50人（構成市町村毎に10名程度）のガイド養成を行い、その後、毎年度、20人（構成市町村毎に5人）の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	50	70	90	110	130
実績値	0					
具体的な指標：	認定地域内における日本遺産ロゴマークの使用許可数					
目標値：	平成 28 年度 2 件 ⇒ 平成 33 年度 24 件					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、毎年度、5件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2	7	12	17	22	27
実績値	2					

(26. 「なんだ、コレは！」 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化)

具体的な指標：	日本遺産認定ロゴマーク利用申請数					
目標値：	平成 27 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 10 件					
設定根拠：	平成29年度までは毎年度1件、その後、毎年度、2件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	1	2	4	6	8	10
実績値	2					

(27. 『珠玉と歩む物語』小松)

具体的な指標：	構成文化財などを解説するガイド実働人数					
目標値：	平成 27 年度 24 人 ⇒ 平成 33 年度 30 人					
設定根拠：	平成33年度に25%増加を設定					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	25	26	27	28	29	30
実績値	24					

(28. 木曾路はすべて山の中)

具体的な指標：	ガイド活動件数					
目標値：	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 50 件					
設定根拠：	年間10件増					
設定根拠：	平成29年度までに10件の活動を行い、その後、毎年度、10件の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	10	20	30	40	50
実績値	0					

(32. 鯨とともに生きる)

具体的な指標：	日本遺産ガイドとして活動する件数					
目標値：	平成 28 年度 2 件 ⇒ 平成 33 年度 20 件					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、平成33年度までに構成市町（4市町）ごとに5件の活動の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	2	5	9	12	16	20
実績値	2					

(37. 日本磁器のふるさと 肥前)

具体的な指標：	ガイド育成講座修了者の後年度活動者数					
目標値：	平成 27 年度 0 人 ⇒ 平成 33 年度 50 人					
設定根拠：	平成29年度までに10人が活動を行い、その後、毎年度、10人の増加数の達成を設定。					
年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値	—	10	20	30	40	50
実績値	0					

(38. 江差の五月は江戸にもない)

具体的な指標：	観光まちづくり会社の実現による雇用者数					
目標値：	平成 28 年度 - 人 ⇒ 平成 34 年度 3 人					
設定根拠：	平成31年度の会社を設立時に3人を雇用し、その後雇用人数を維持					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	—	—	3	3	3	3
実績値						
具体的な指標：	「100人の語り部」としての登録者数					
目標値：	平成 28 年度 10 人 ⇒ 平成 34 年度 100 人					
設定根拠：	平成28年度を基準とし、平成30年度までは10人、平成31年度以降は毎年20人増加するものとして設定。					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	10	20	40	60	80	100
実績値						

(41. 和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田)

具体的な指標：	利活用、再活用となった足袋蔵等の件数					
目標値：	平成 28 年度 13 件 ⇒ 平成 34 年度 17 件					
設定根拠：	平成30年度までに新たに1件を活用し、平成32年度以降は毎年度1件の増加数達成を設定					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標値	13	14	14	15	16	17
実績値						